鉄人28号
原作完全版
横山光輝
10
ブラック
オックス

横山光輝

鉄人28号
原作完全版

10

ブラックオックス始動

KIBO
COMICS
スペシャル

鉄人28号 10

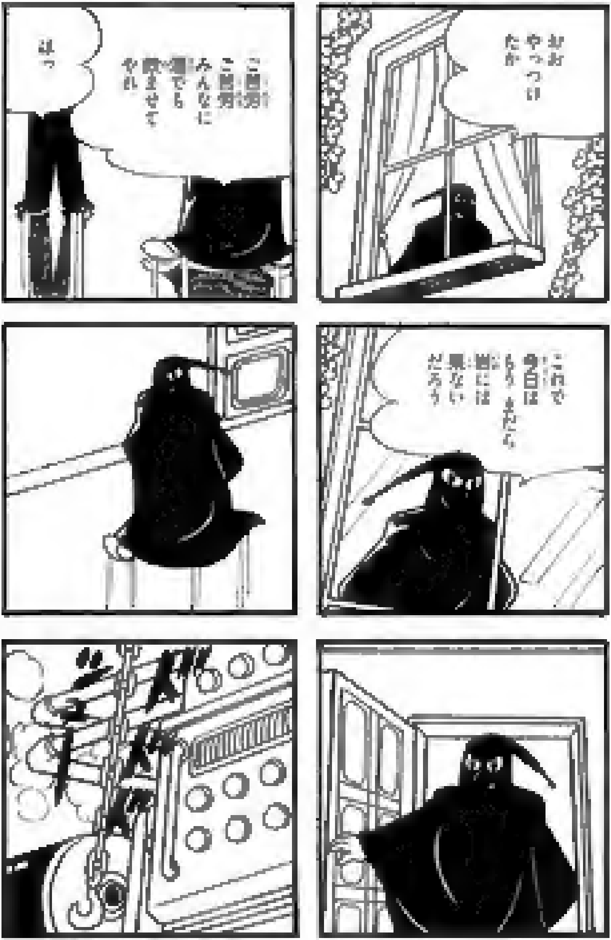
原作完全版

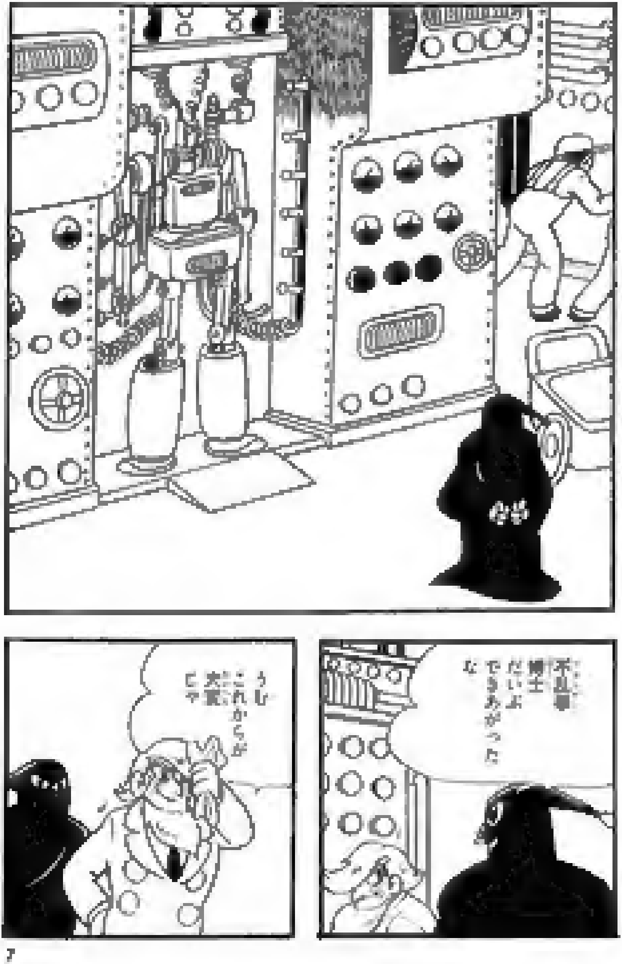
ブラックオックス始動

かんがえるロボット …… 6
岩風と光の爆発 …… 18
くずれるまだら岩 …… 34
ブラックオックス …… 47
あらわれたオックス …… 65
ブラックオックスの力 …… 102
ブラックオックスのなぞ …… 122
たばこの火 …… 137
鉄人とオックス …… 171
うばわれた鉄人 …… 211

陸海空軍出動 [illegible]
おそいかかる鉄人 [illegible]
磁気嵐 [illegible]
ふく面団の最後 [illegible]

かんがえるロボット

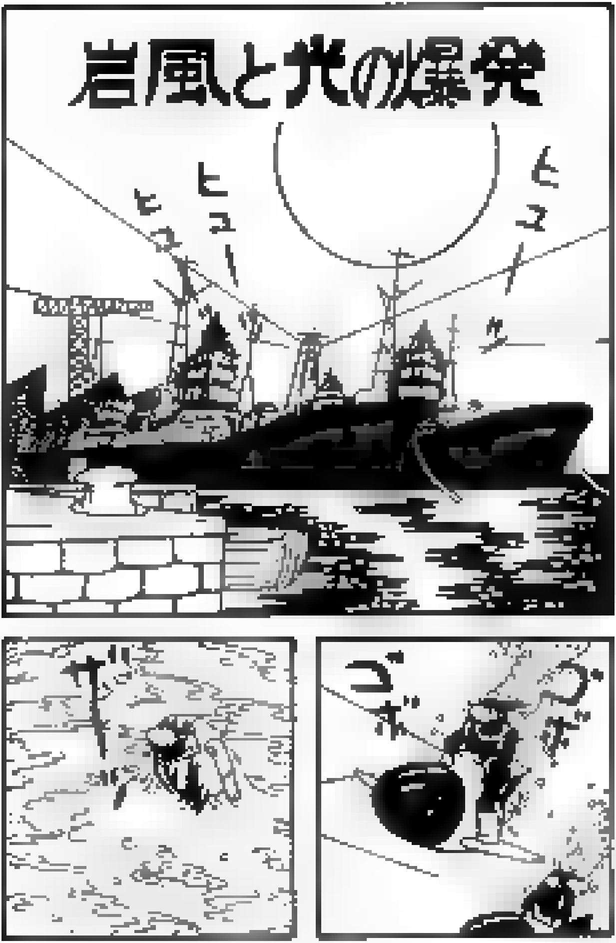

おお やっつけたか
ご苦労 ご苦労 みんなに 酒でも 飲ませて やれ
はっ

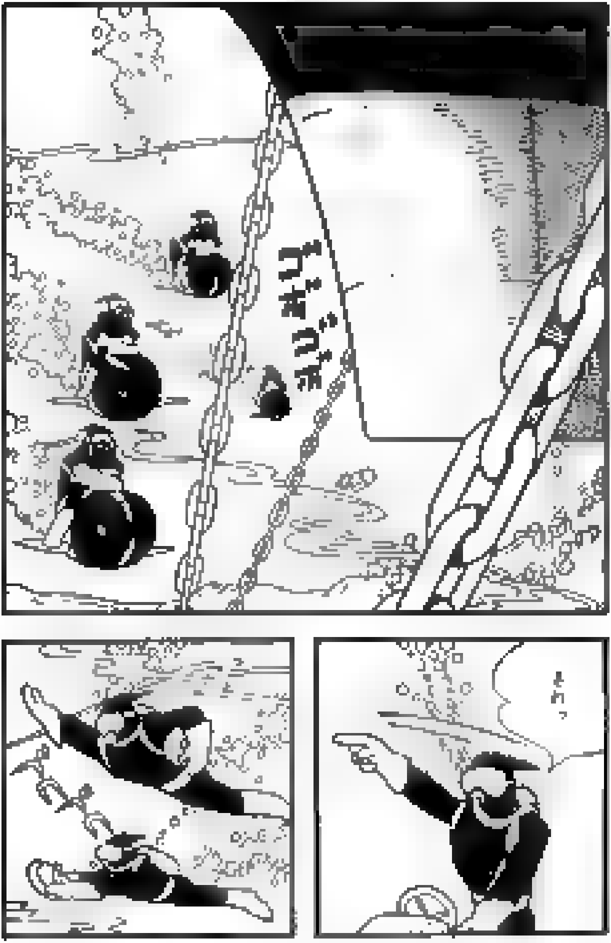

不乱拳博士 だいよ できあがったな
うむ これからが大変じゃ

果たして このロボットが 人間と同じように ものを考えるか どうか……
博士 いまさら そんな気の弱いことで どうする
うむ
しかし これが働き出したら わしの一生をつうじて 最大の傑作に なるだろう
うむ

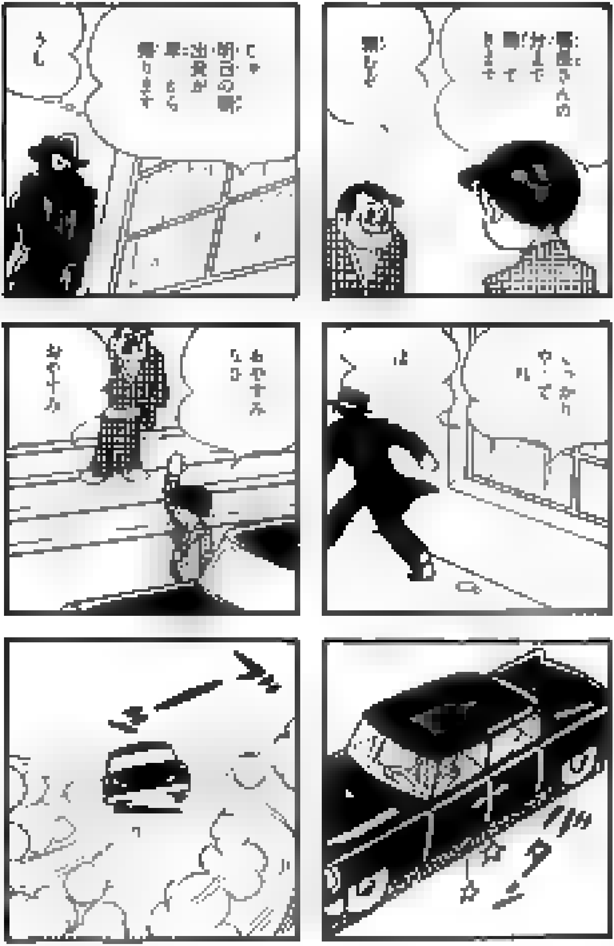
あわてて どうした

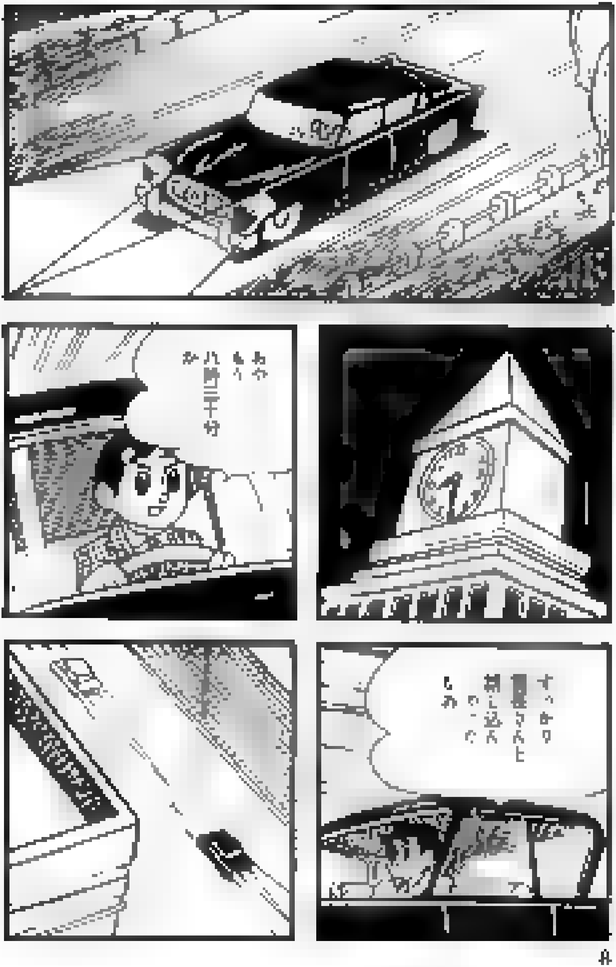
うーむ
よし
はっ
は…

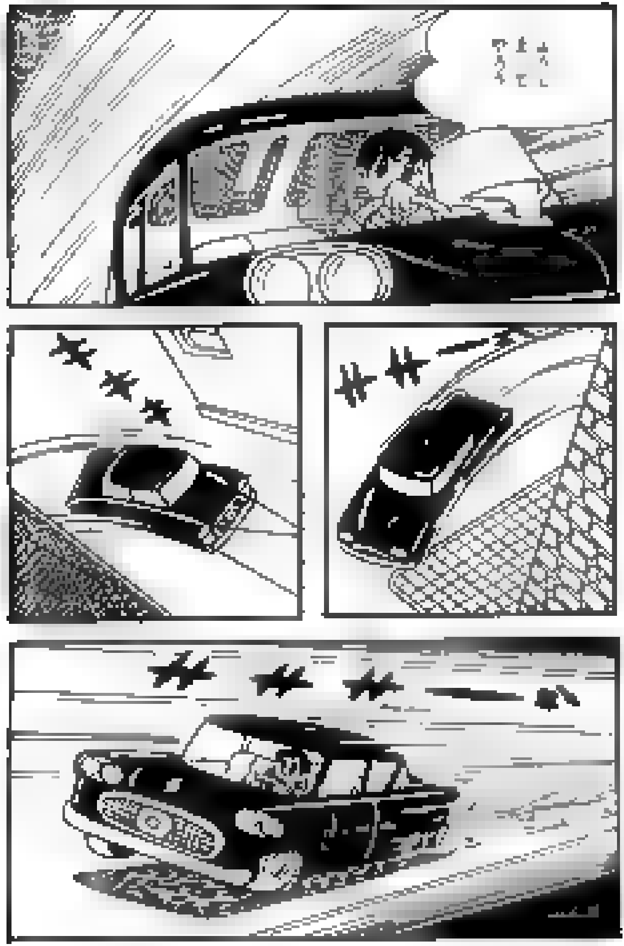

岩風と光の爆発
ヒュー
ヒュー
ゴボ
ゴボ


ゴボゴボ
あれっ

わしも行きたいが この体じゃなあ


じゃ 明日の朝 出発が 早いから 帰ります
うん
おやすみ なさい
おやすみ

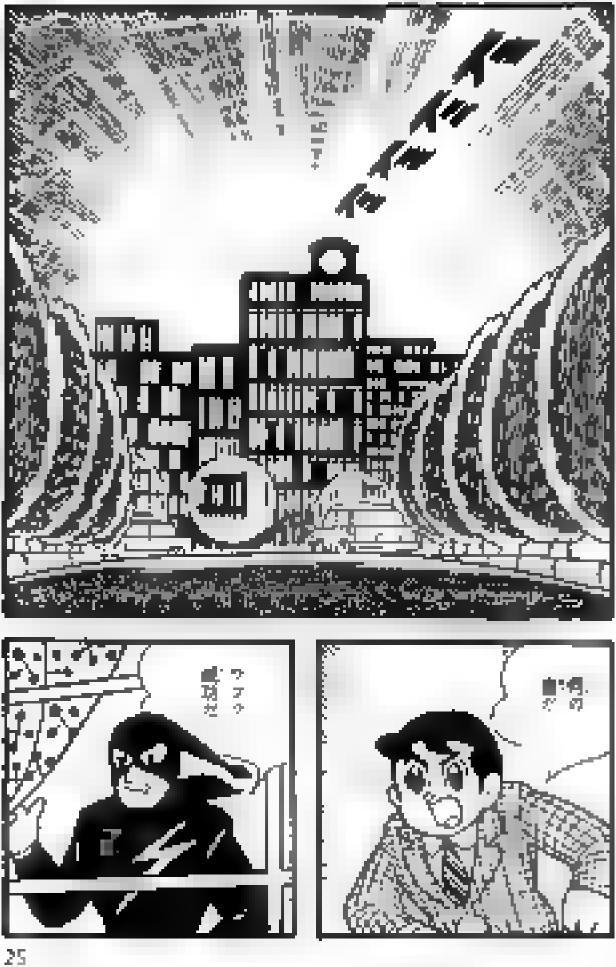

あや もう 八時二十分 か
すっかり
話し込ん



ワァッ
正太郎くん

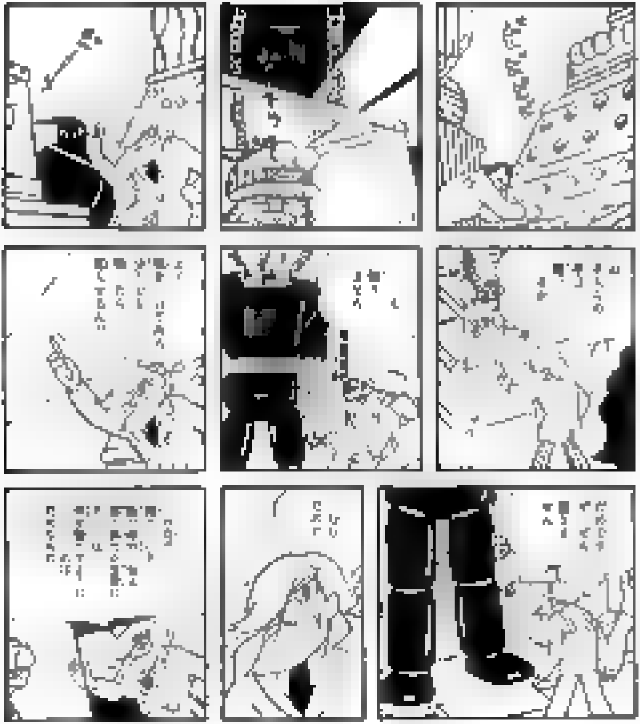
うそ
あと
五分だ
オワァ

黙って
見ていれば
わかろう
うむむ
コチ
コチ
コチコチ
あと
十秒だ
五秒
四秒
三秒
二秒

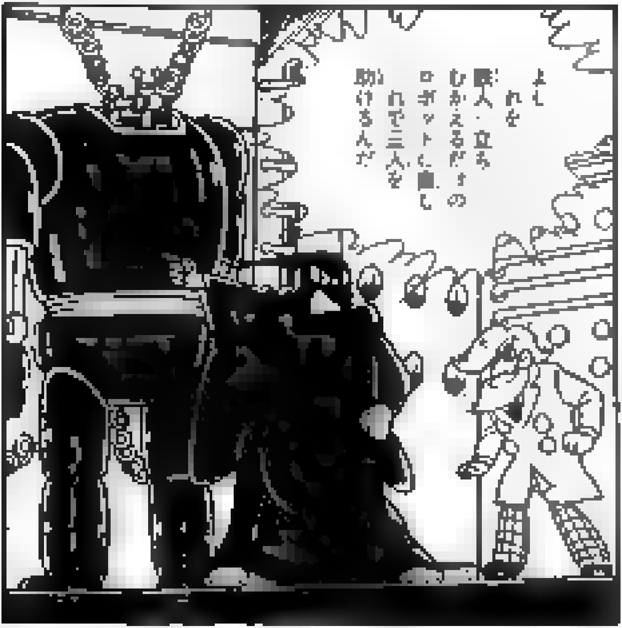


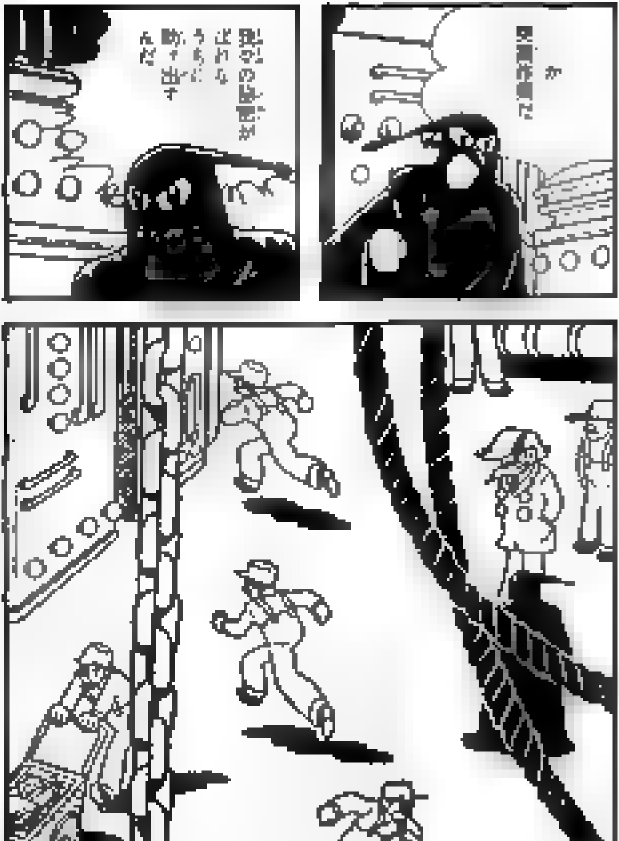
正次郎くん
うむむ
なにーっ
そのとおり

これで
ひとつ
片づく
もう　ひとつ
怪獣は
きみの助手
たちは

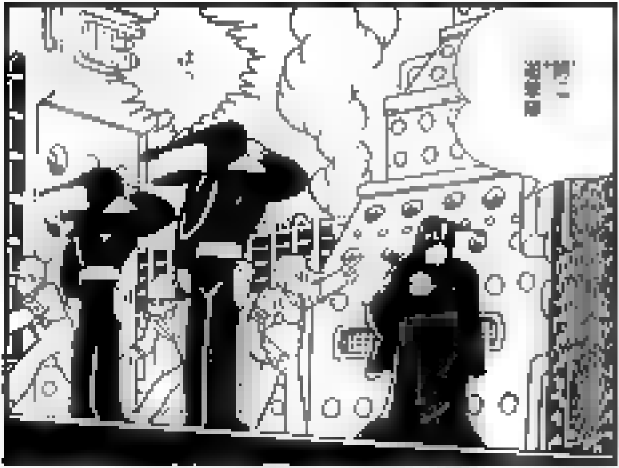


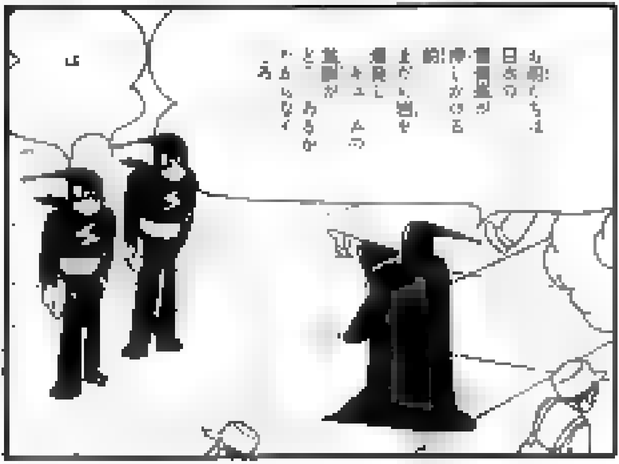
くずれるまだら岩





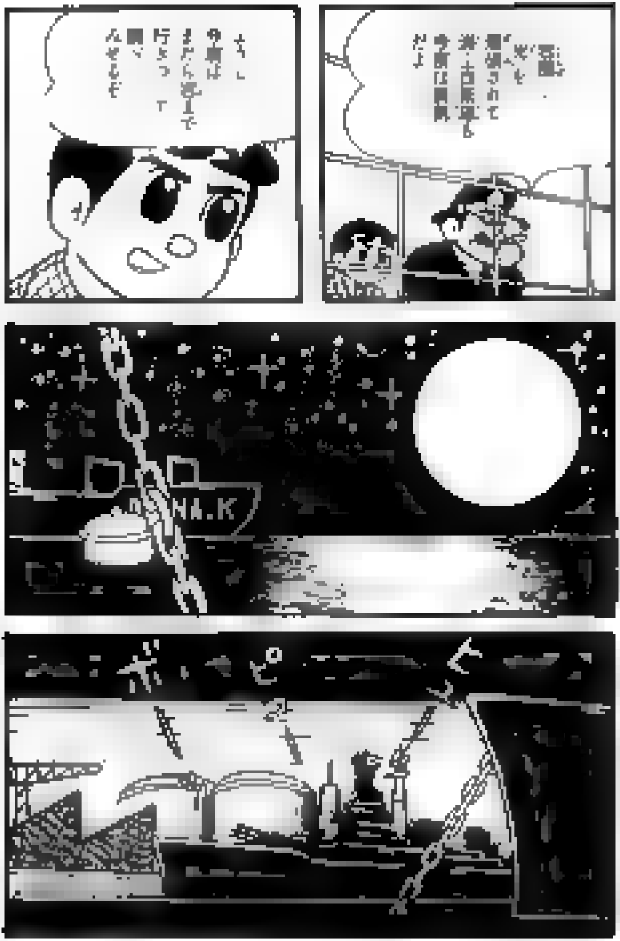
か
反重作用だ

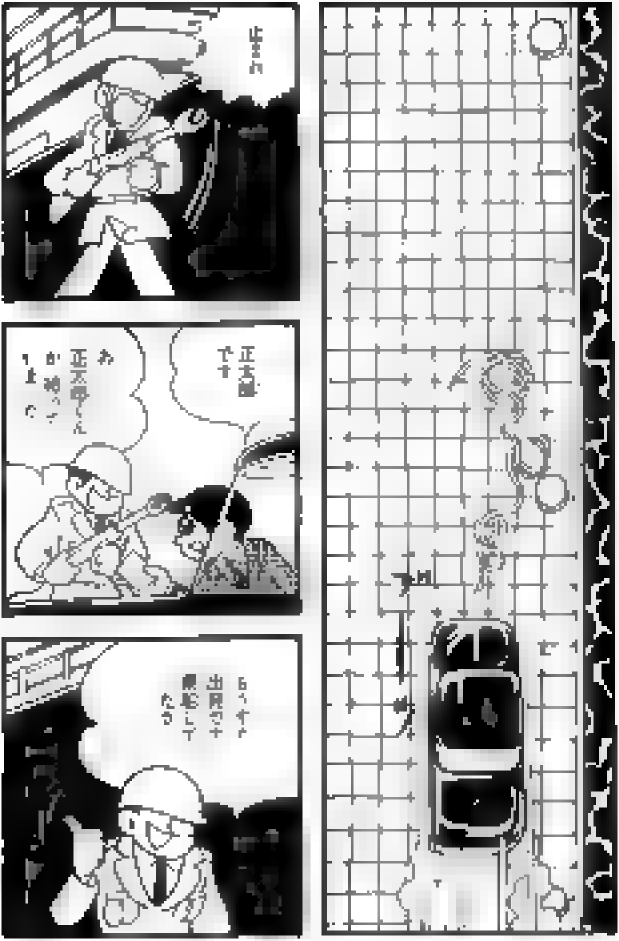


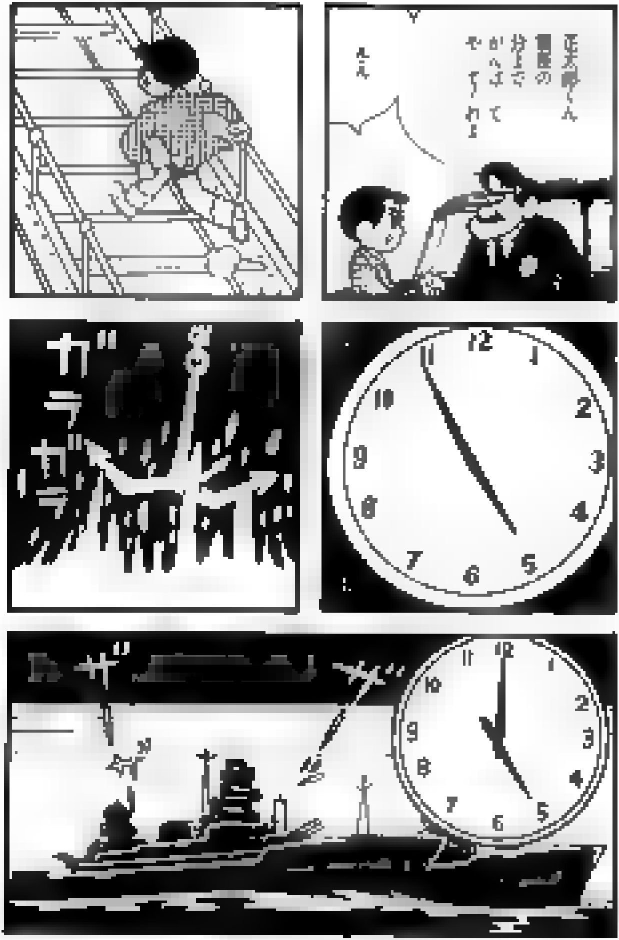

お前たちは
日本の
電磁波が
発見し
装置が
わからない

会議室

あ もしもし そうです
正太郎くんですか
わかりました そう伝えましょう
正太郎くん 明日夜明け五時 警視庁が 出動するそうだ
えっ
そうですか


よし


止まれ
正太郎です
お正太郎くんが帰って

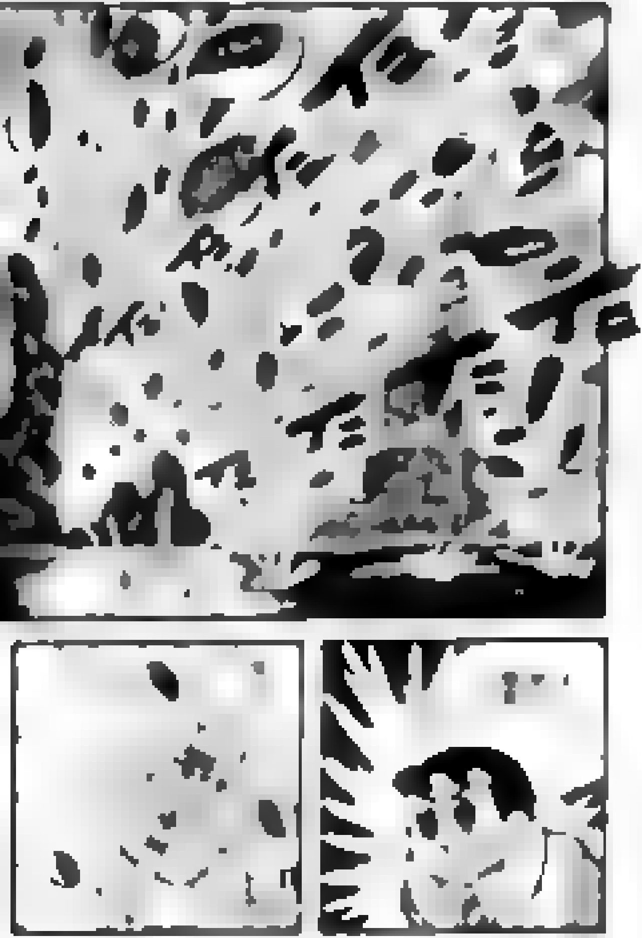

正太郎くん
ええ
ガラガラ

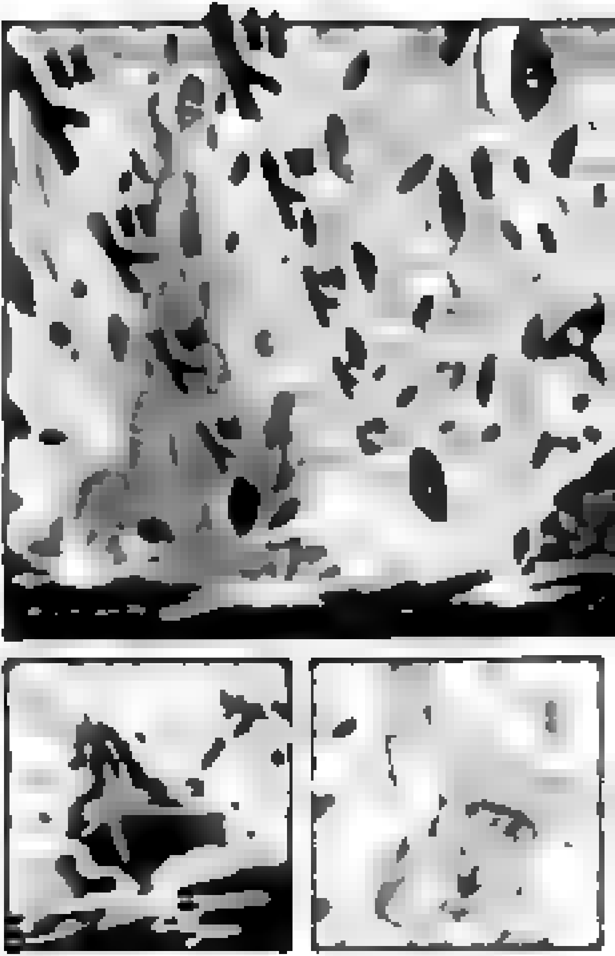
正吉くん
海の中を進んでます

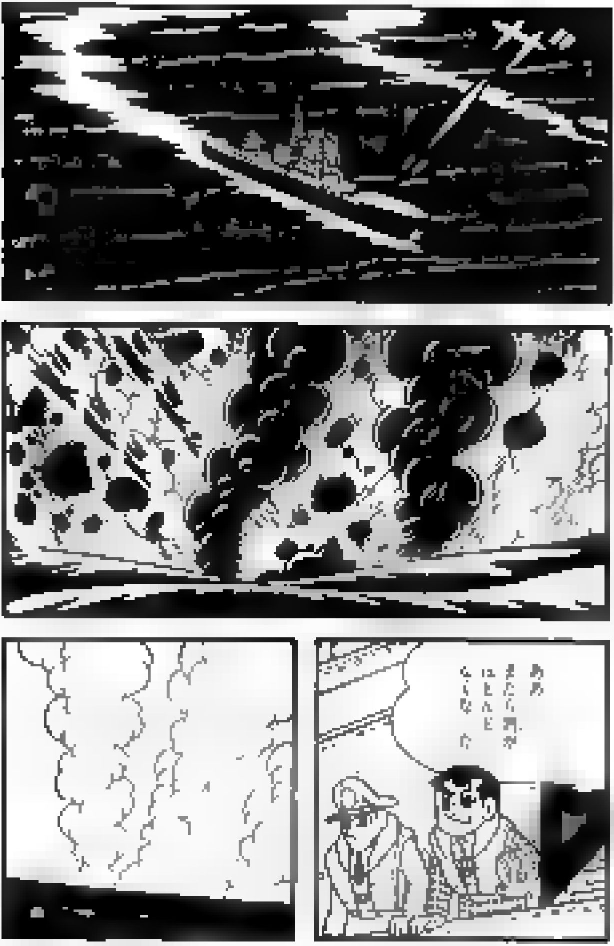
今度は おや 軍人たちも

"羽黒"艦らしきものは発見されません
とにかく油断はするな

それっ



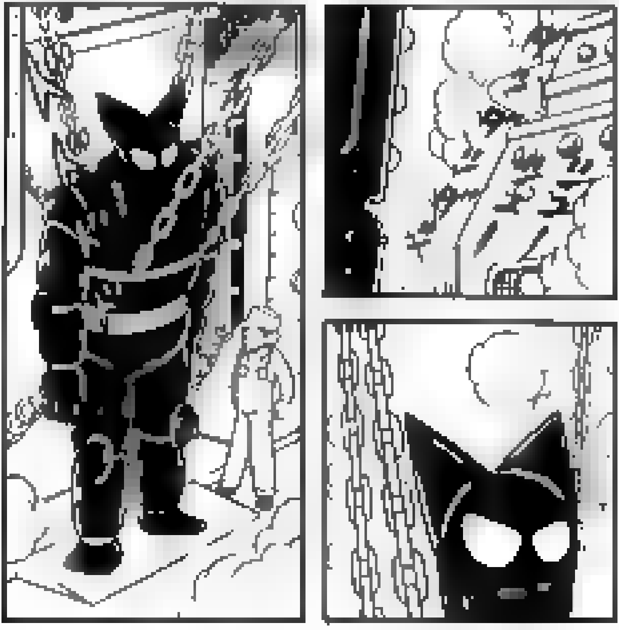


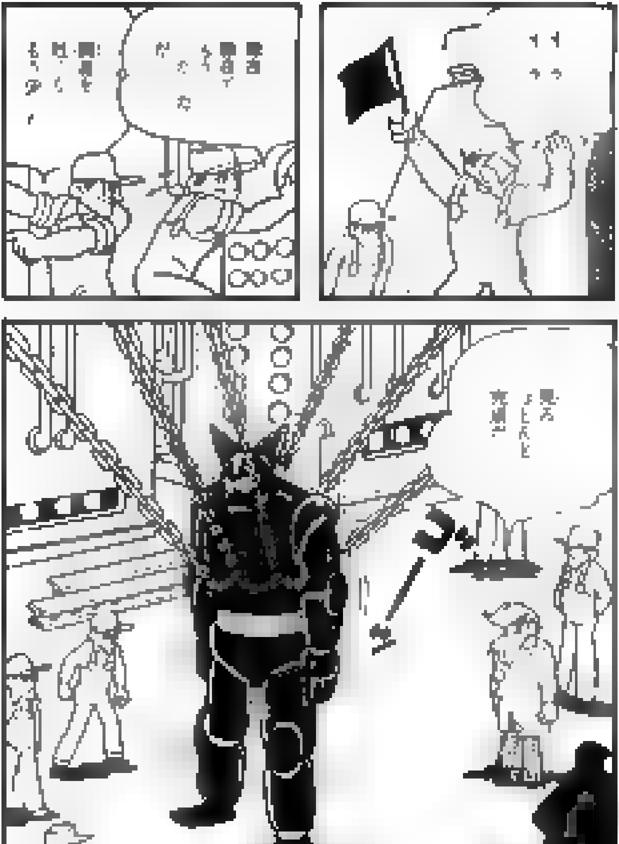

ああ また雨が ほとんど なくなった

うむ
そうか
だめです
うむ

潮水脈が来ます
ああ 来たって 何しわかるものか
よし 船たちは みつかったら な 引き揚げだ

ブラックオックス





だめです
む
よし
引き上げよう
全速で
もう
日が暮れて
きた

よし 割り出せ
うむっ
敵の手がかりはあの捕えた三人から
よし あの三人の口から より 敵の基地を割り出してみせるぞ

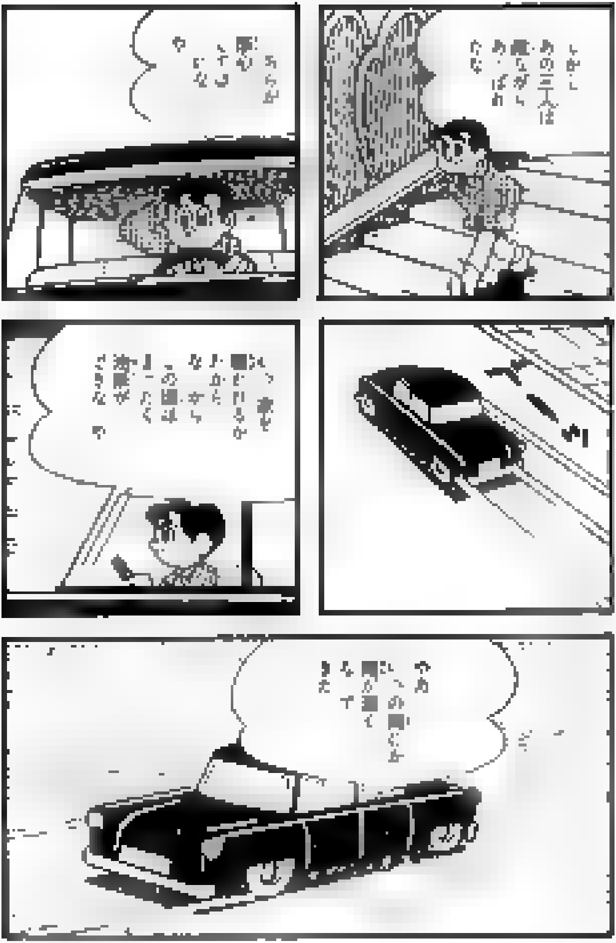
あらわれたオックス

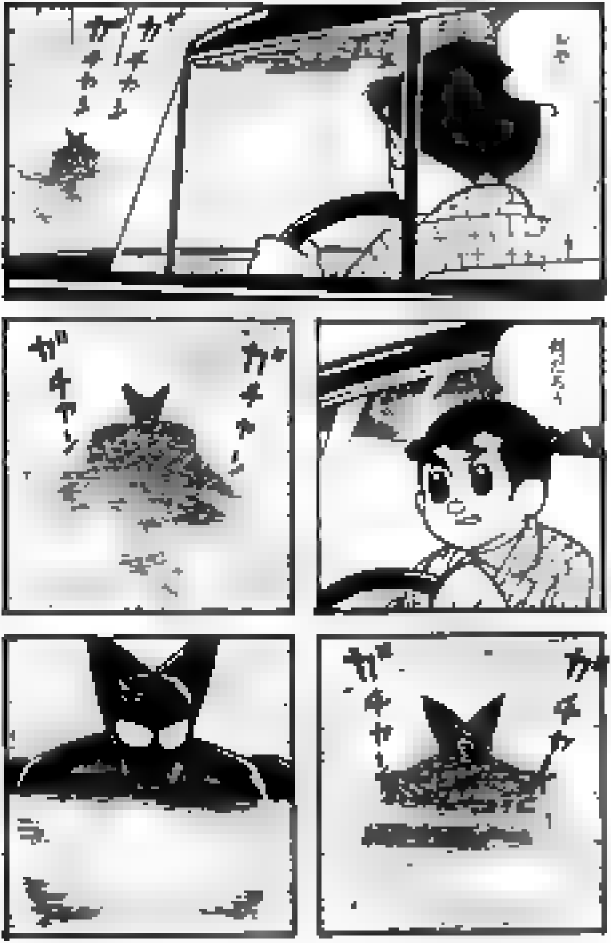
ブルル

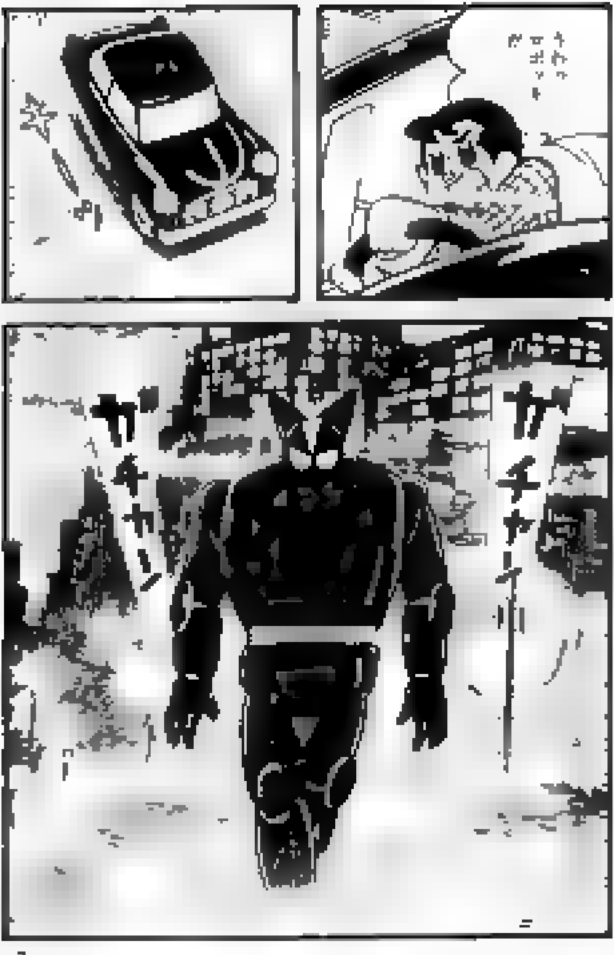
どうかね
ぜんぜん口をききません
お 君 尾行したらどうか

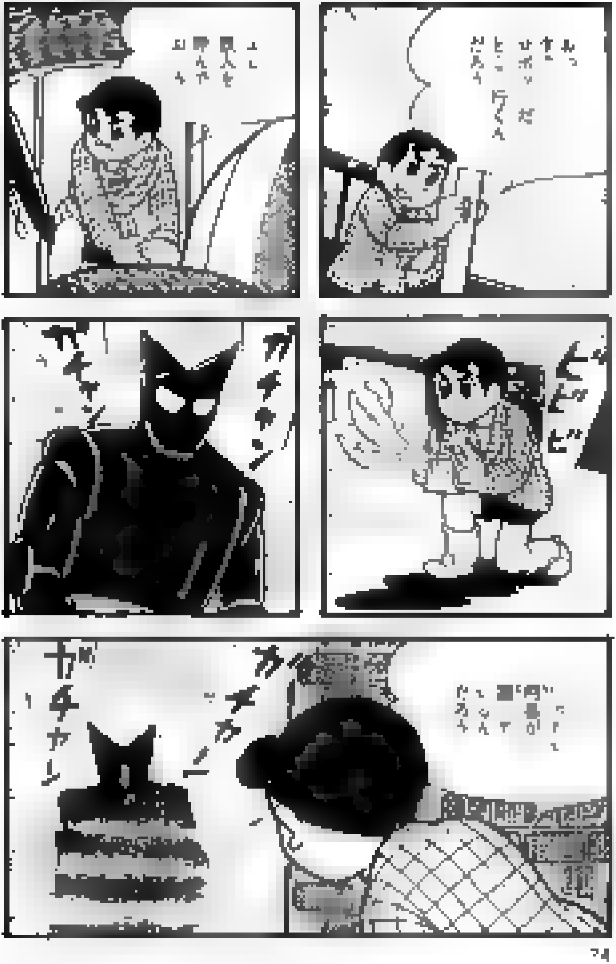
閣下
このとおり
です
うむ

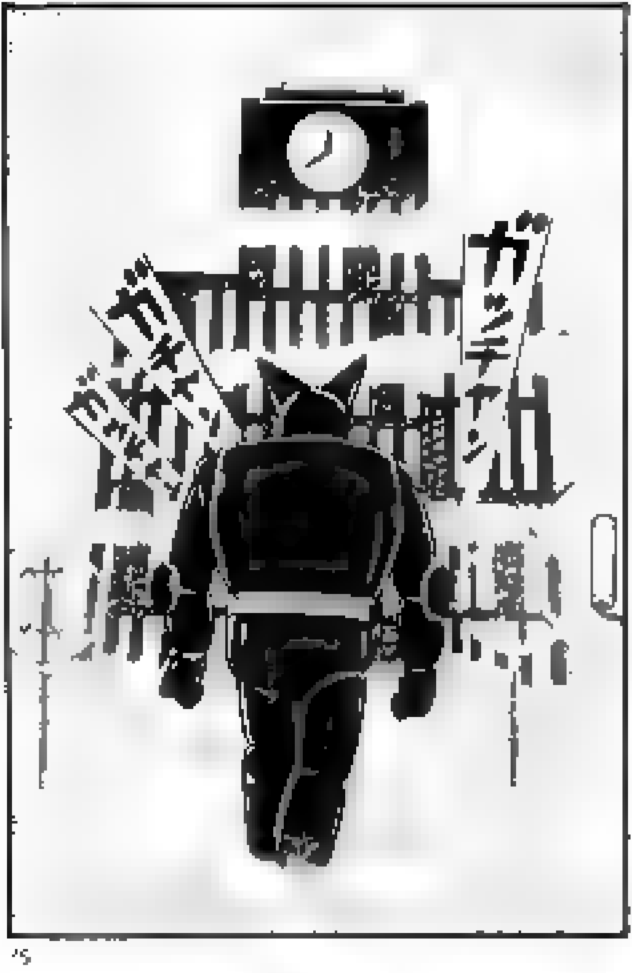
すでに四時間の遅刻ですからね こちらの様子がさとられてしまいませ
こうなると あの三人と無関係ですね
そうだ
あの男子じゃちょっとやそっとで白状しそうもない 時間がかからなくちゃだめだろう
そうですね
正太郎くん 何か手がかりがつかめたら すぐ知らせてくれ
ええ
あ また来ます
気をつけてな





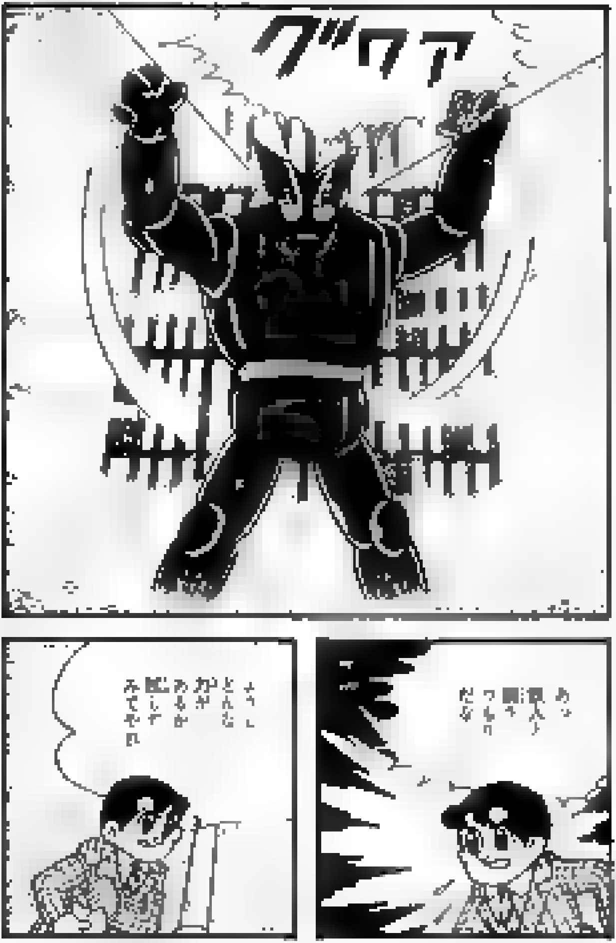

ガチャーン
ガチャン

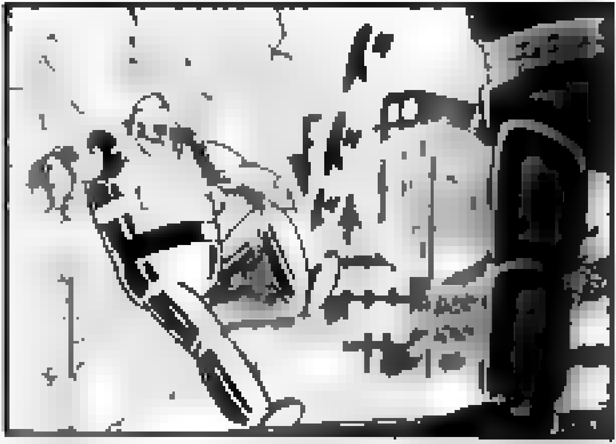




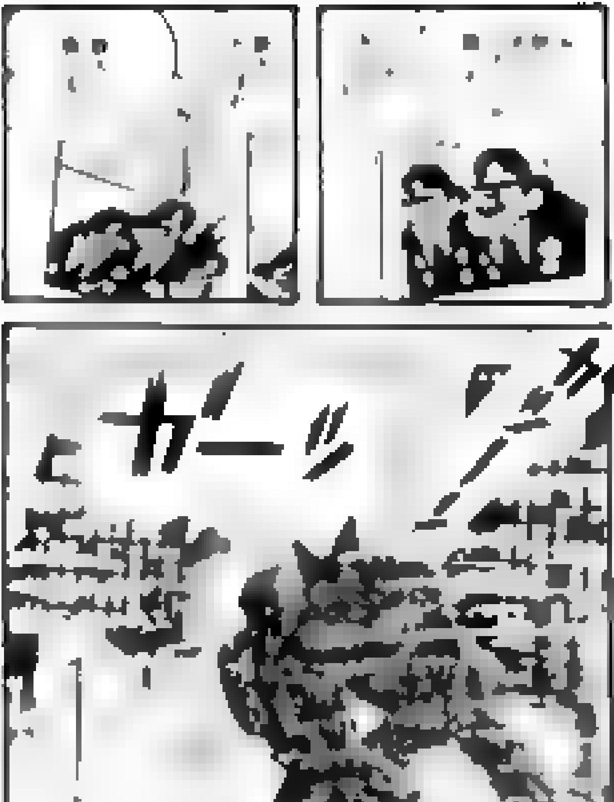
よ ほんとか
よし わかった
どれ
ガチャ!
あ〜 あれ!
おっ

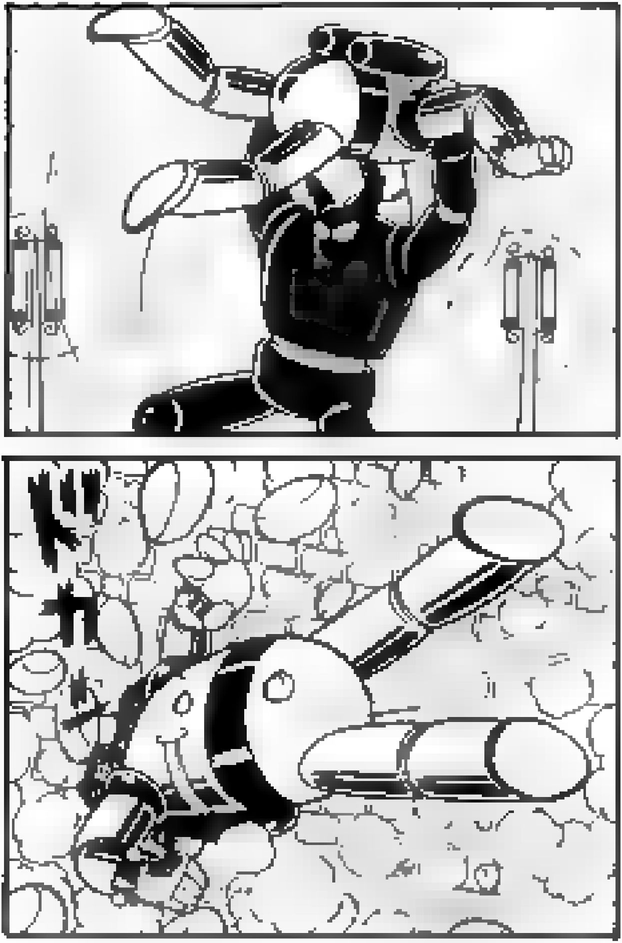
すぐ非常ベルを鳴らせ
はっ
うわあわわ
すげえや

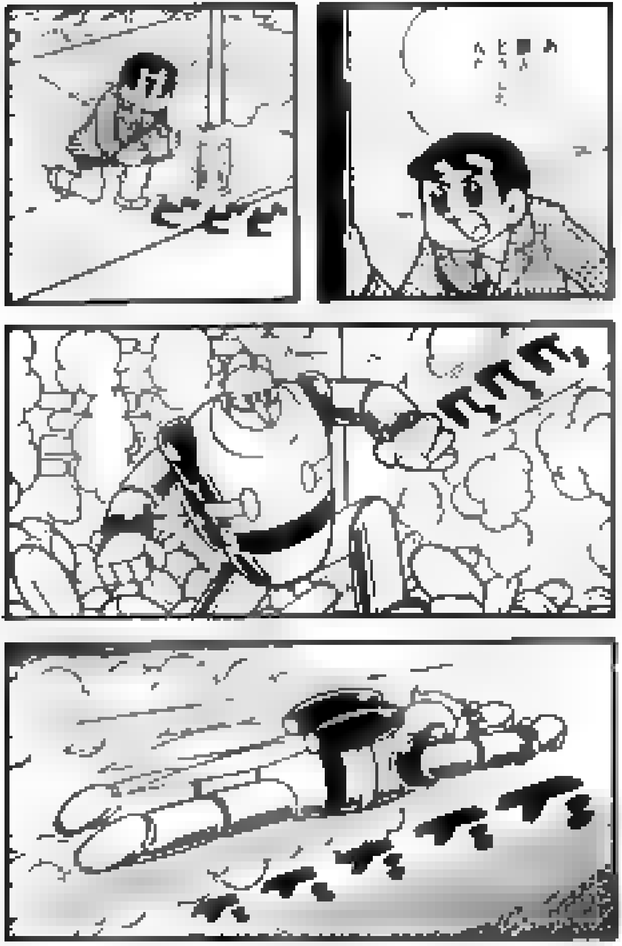

グワア
ようし どんな力があるか 試してみてやれ
あっ
つもりだな

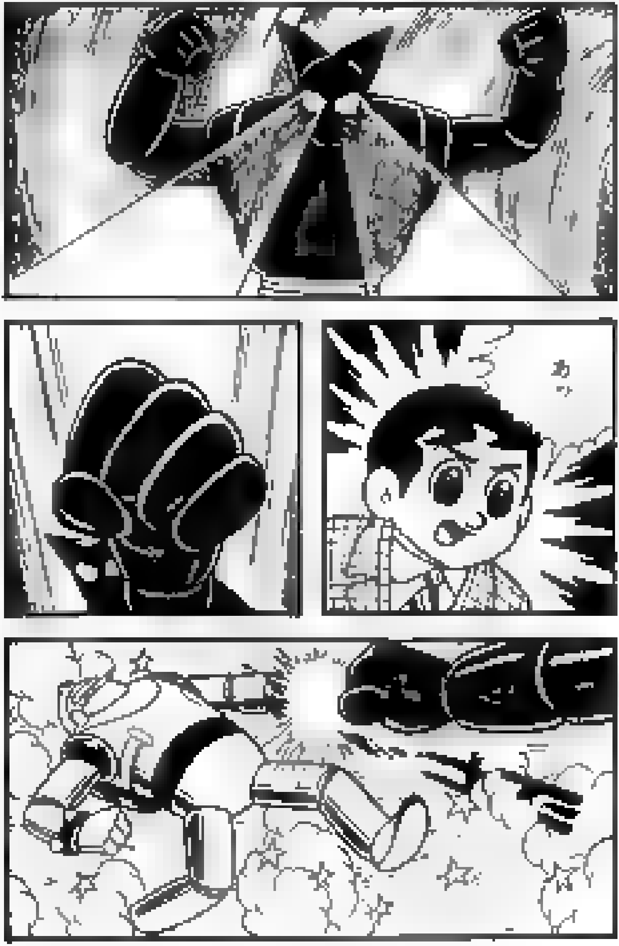


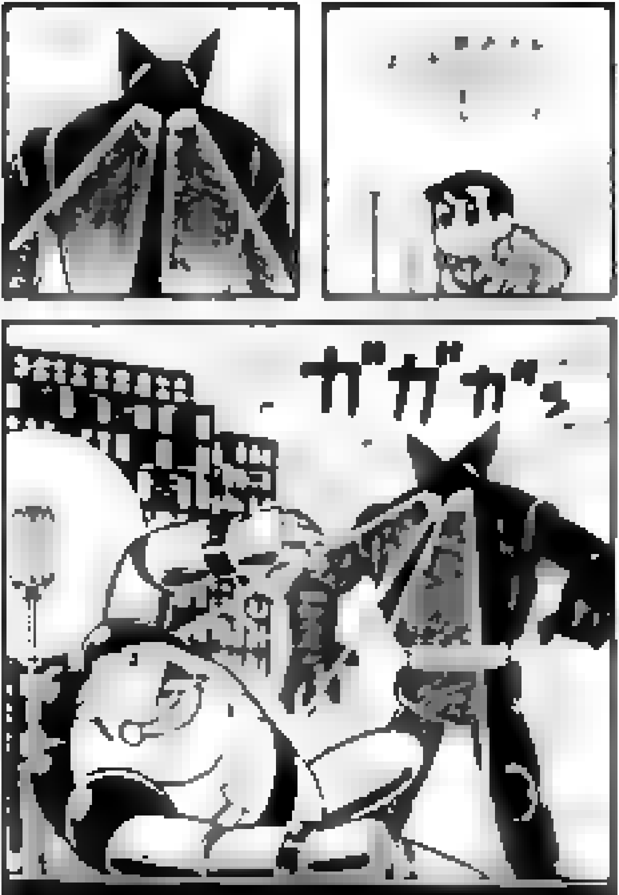
グワーッ
ガーッ

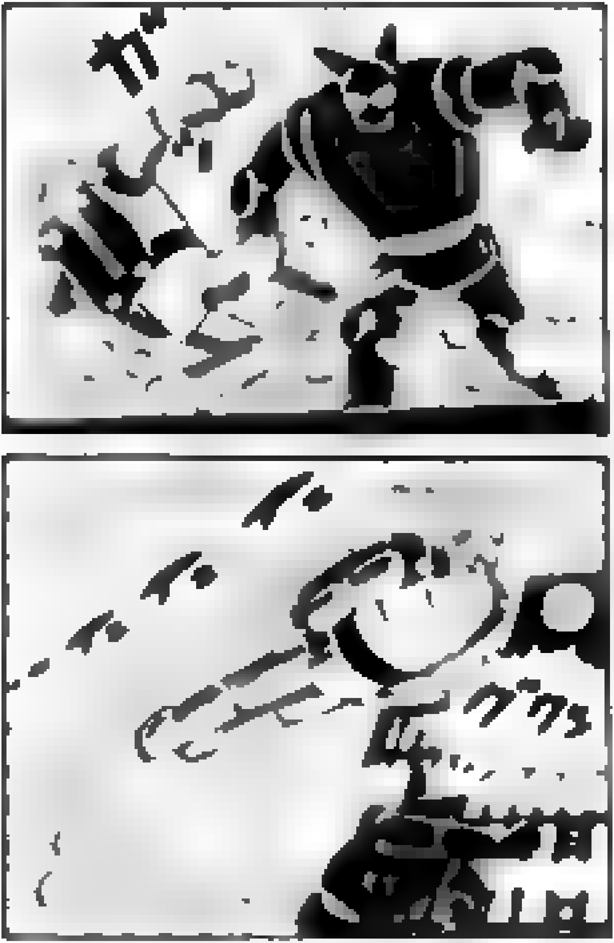


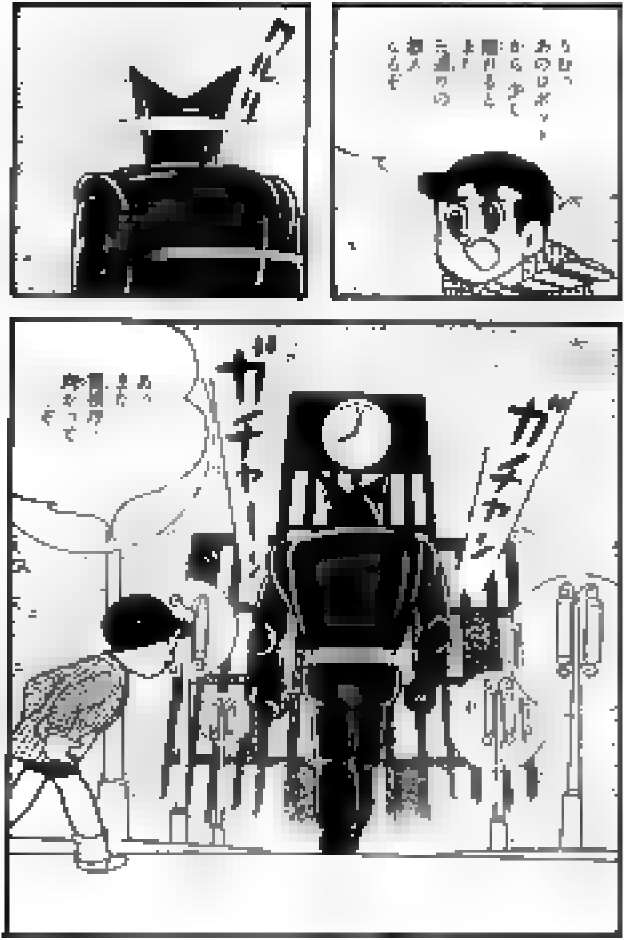




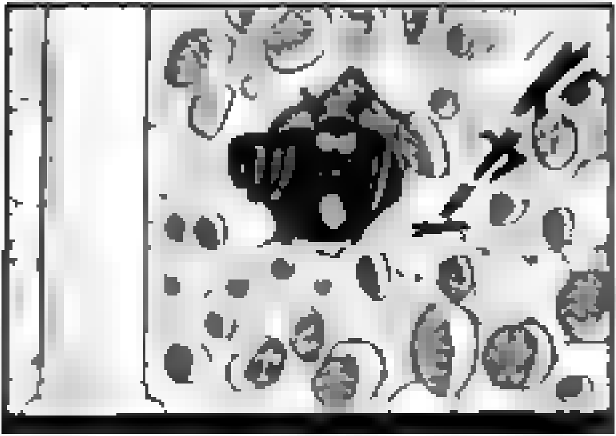

あッ

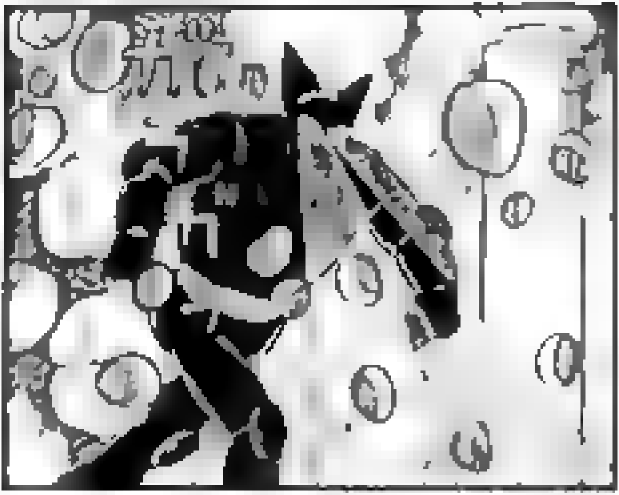

ガガガッ



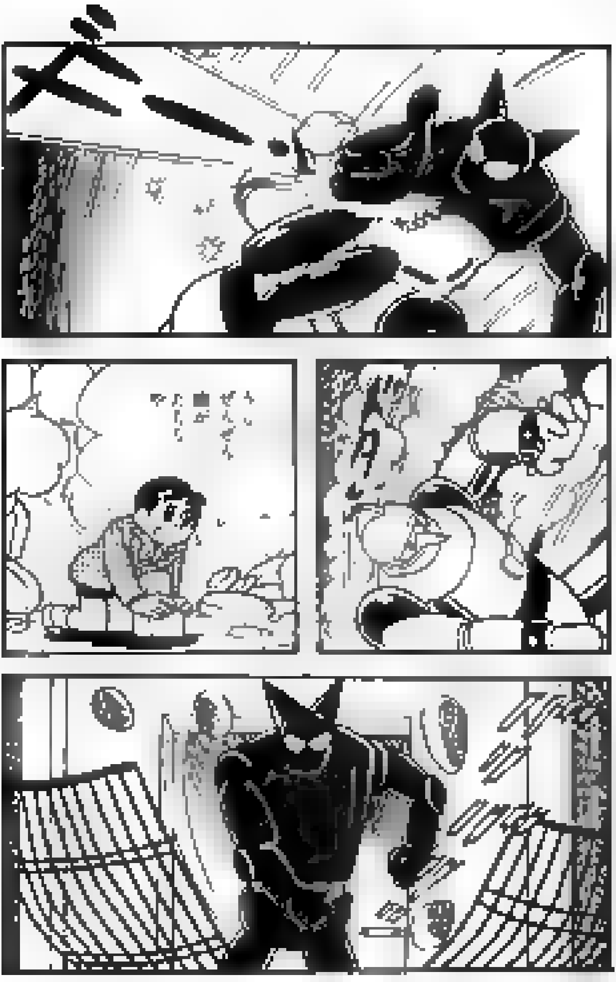

クルリ
ガチャーン
ガチャン

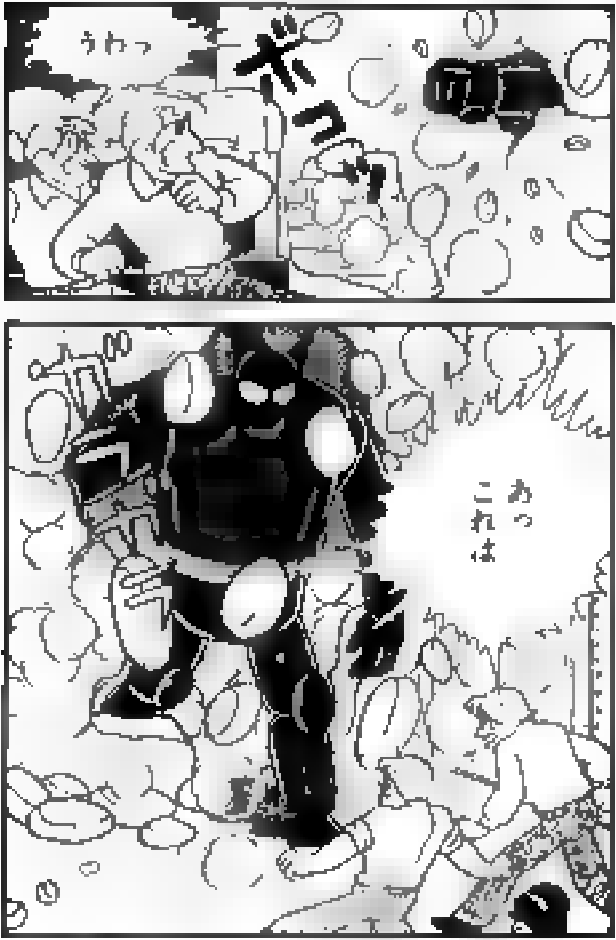
ガチャ
ガチャン
うわあ こちらへ やってくるぞ
何の用が あるんだ
ロボットなんか
みな 警戒

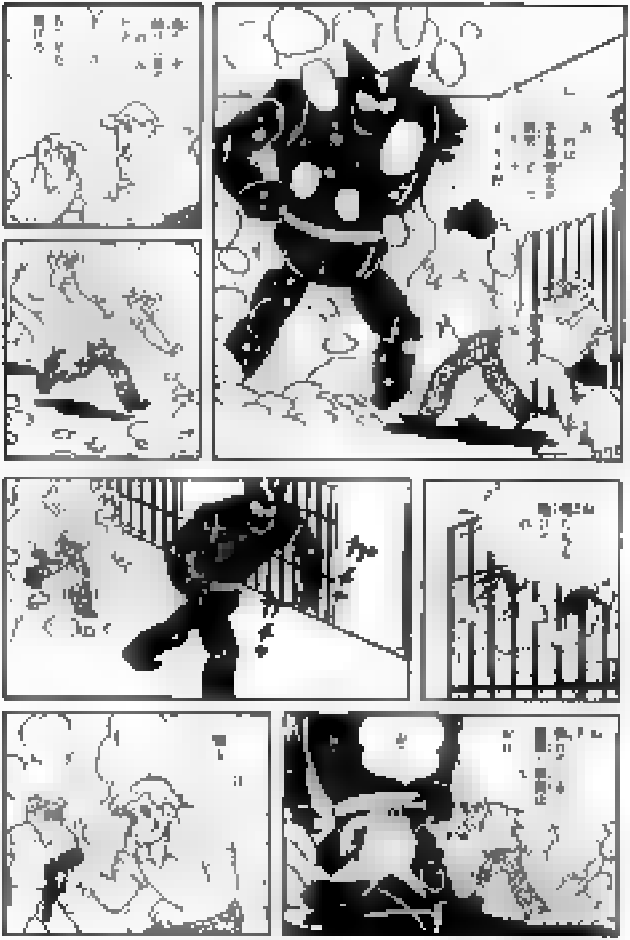


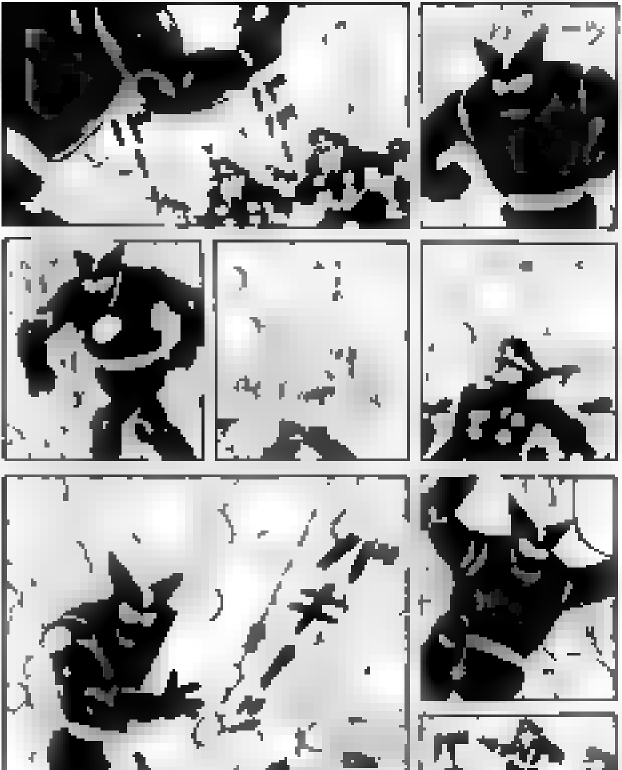


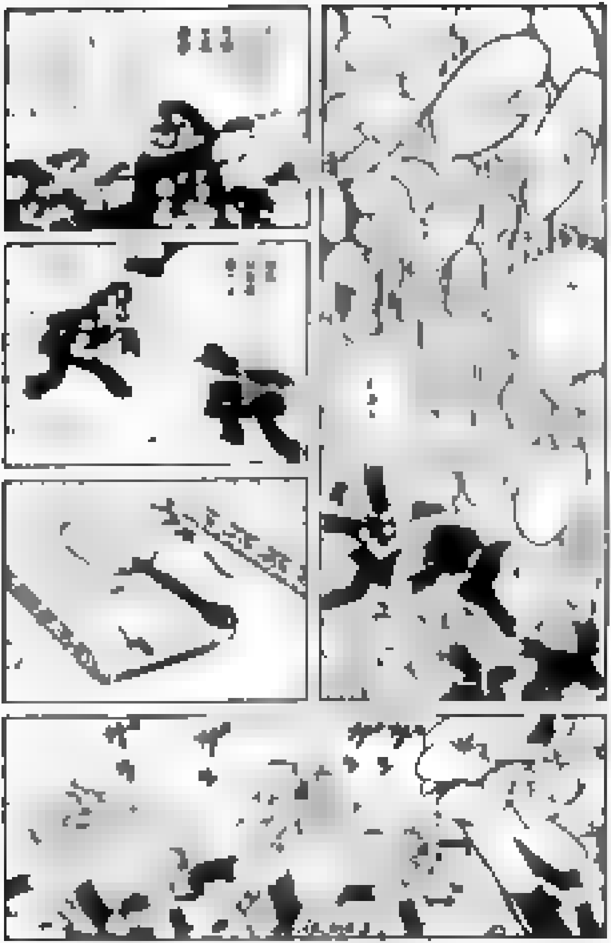
撃て 撃て
うわっ

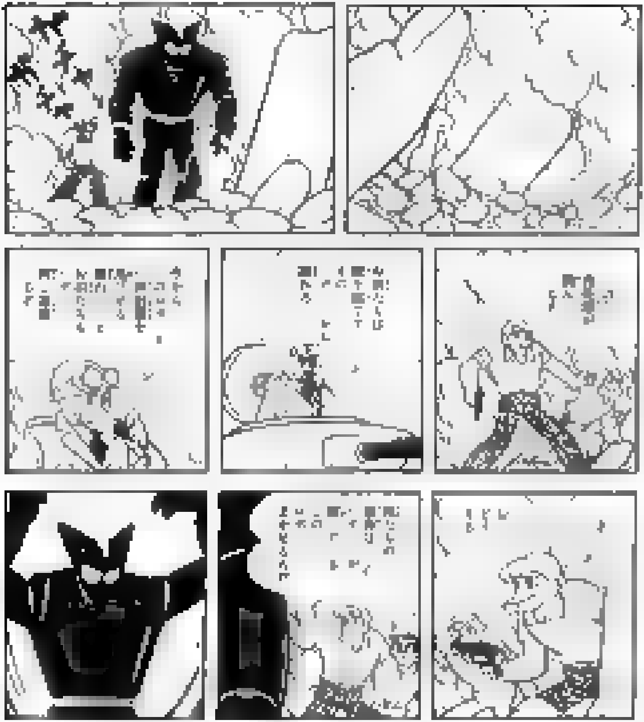


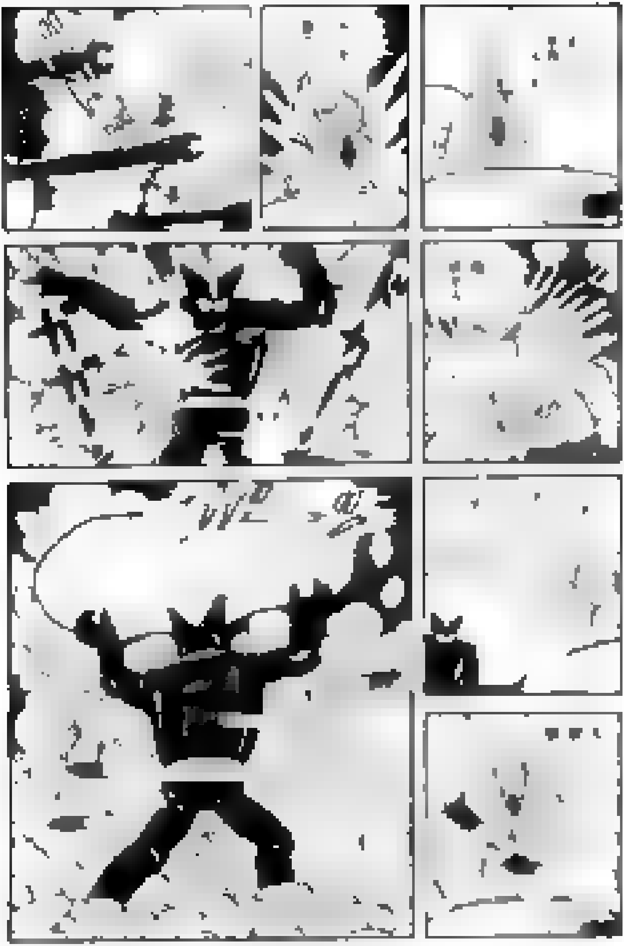

ボコッ
うわっ
あっ これは



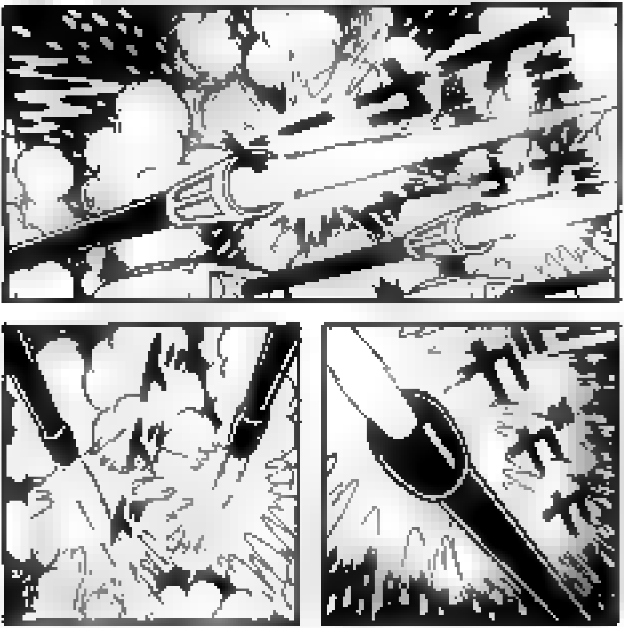


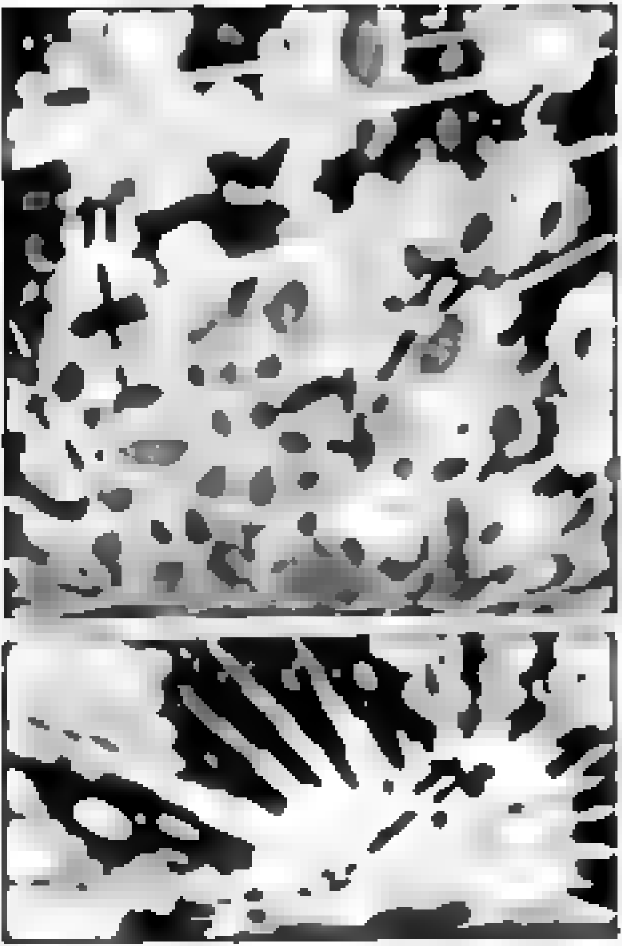


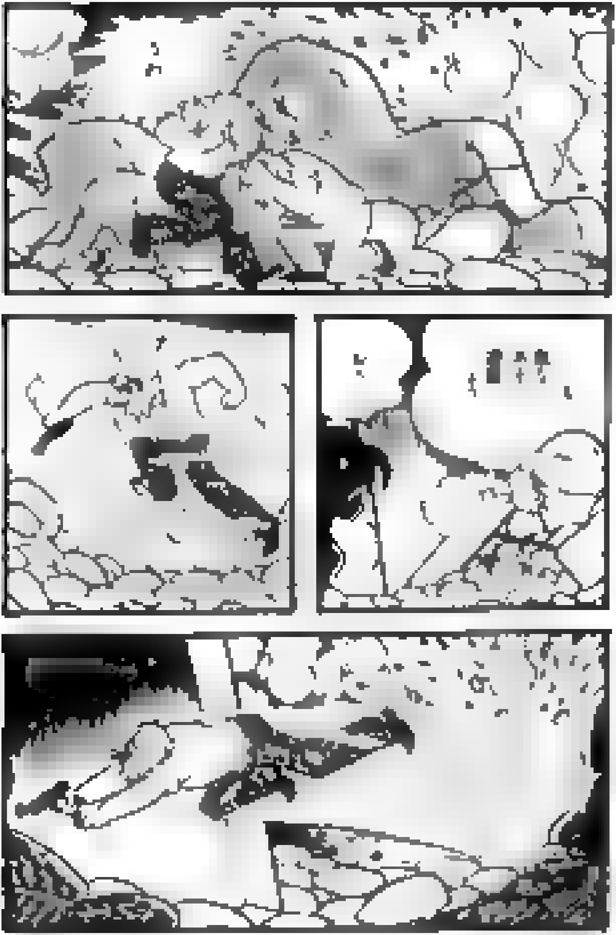


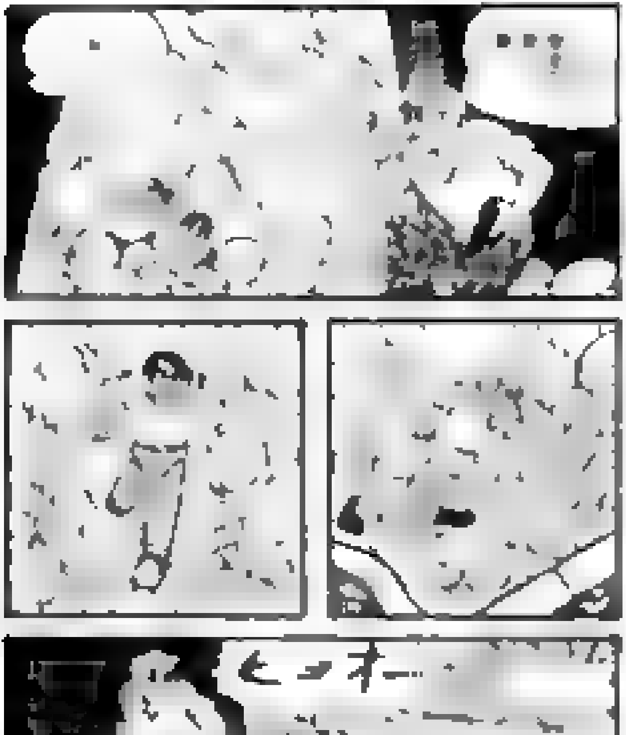


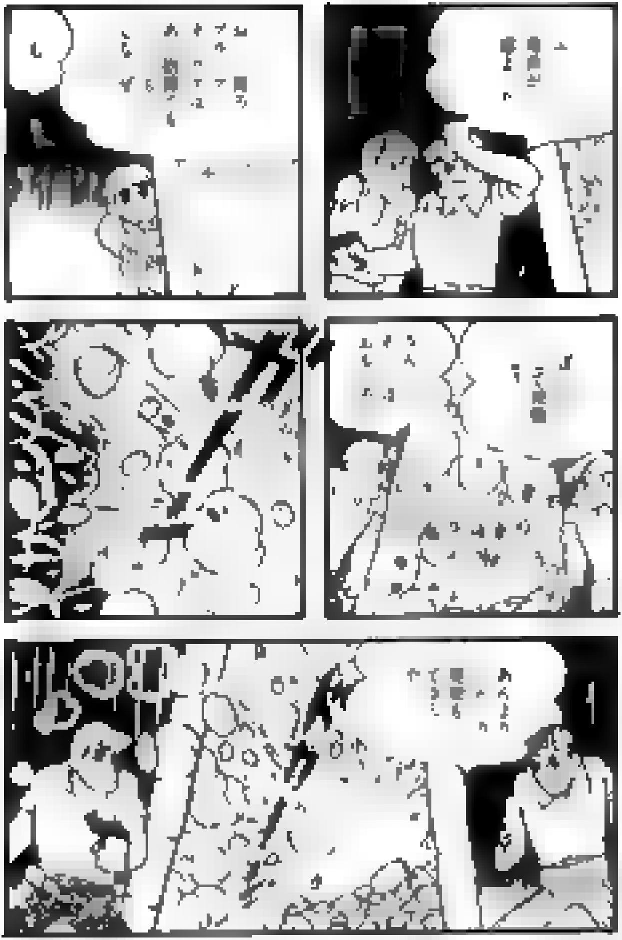
ブラックオックスの力





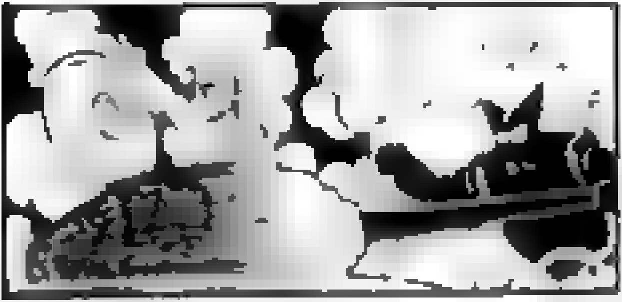


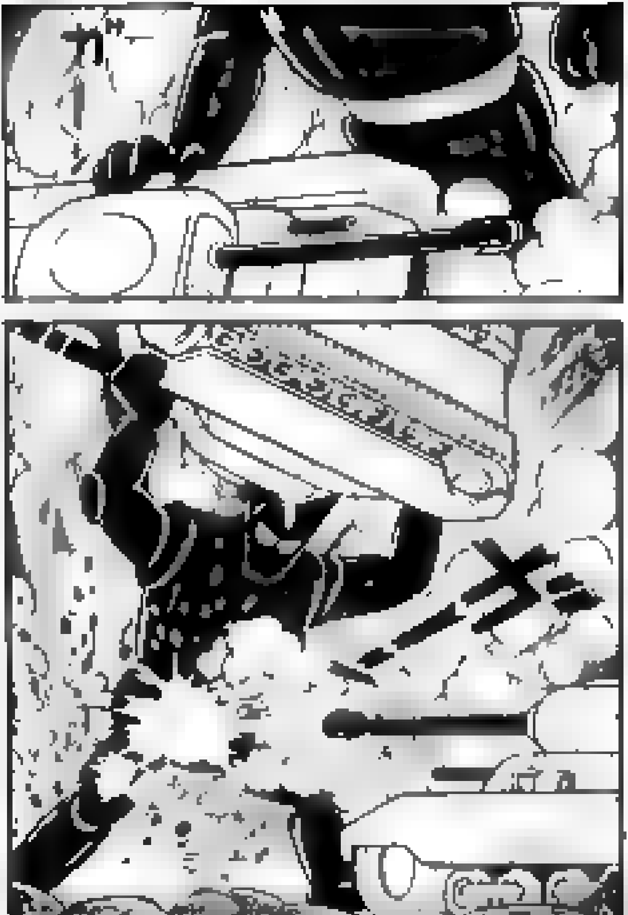

・・・
ヒュオー…

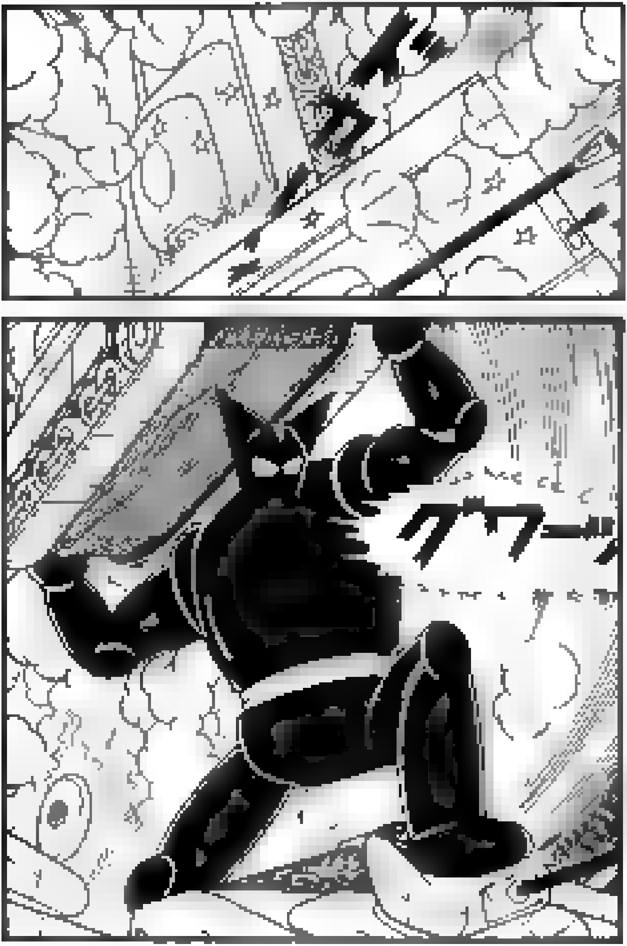


ガーン

ガーン



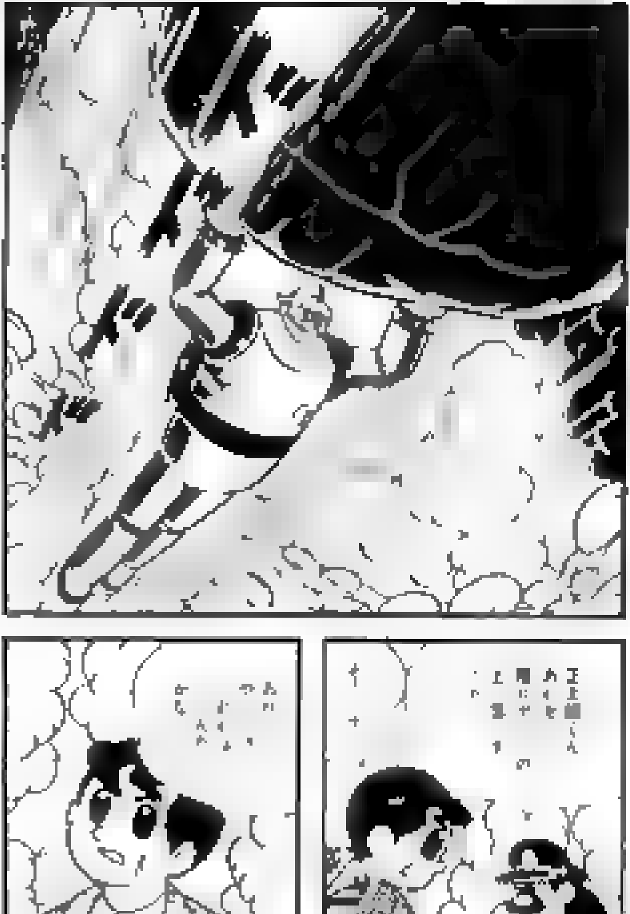


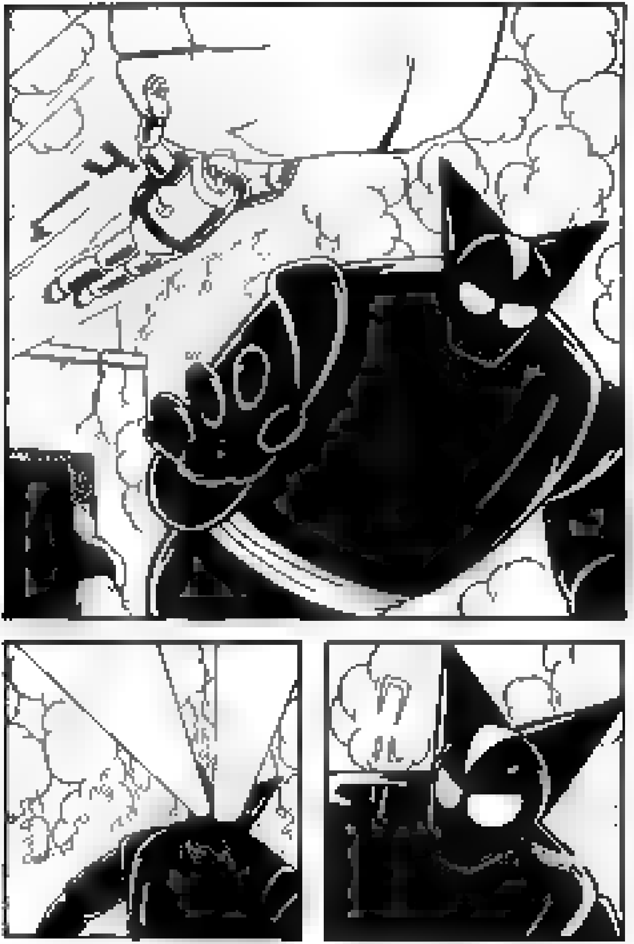


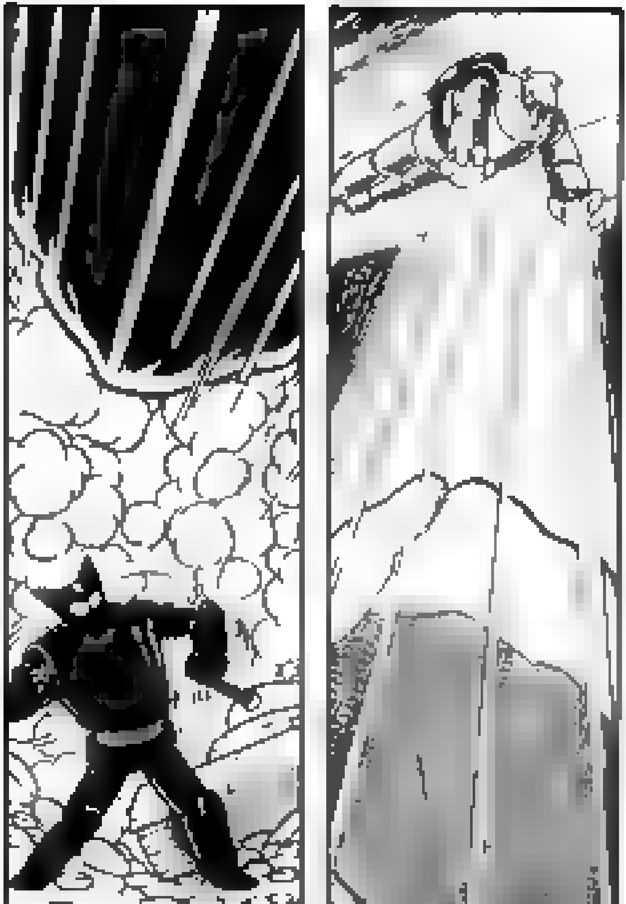
うわあ
なって きた
あの ロボ を
鉄人は どうした 鉄人は
だめです 鉄人は
おう 正太郎くん 鉄人は どうして だめなんだ
わかりません あの ロボットに 近づくと まるで力が なくなるんです

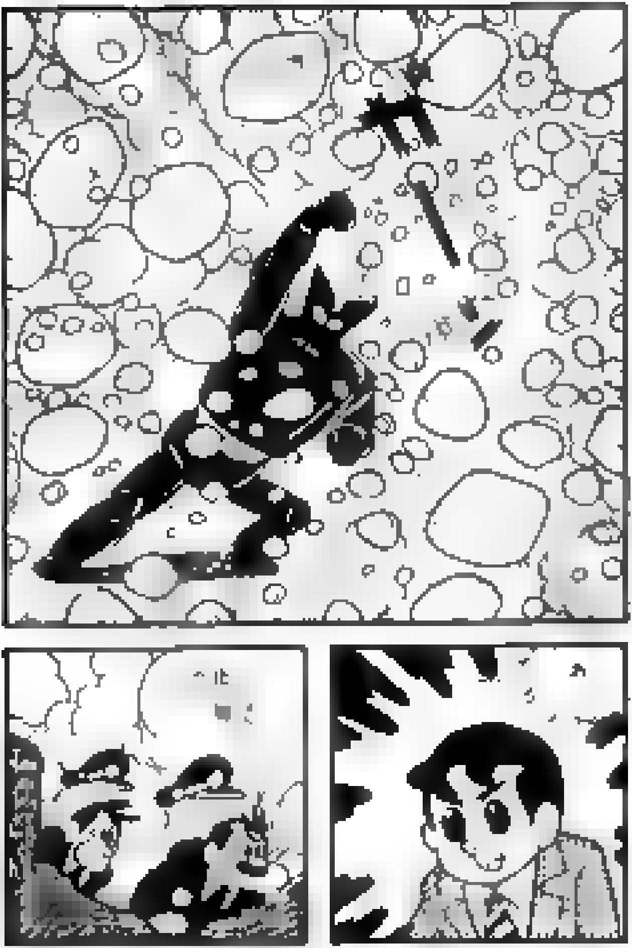
持ってるの
かな
あのロボットの
空から
攻撃するん
です

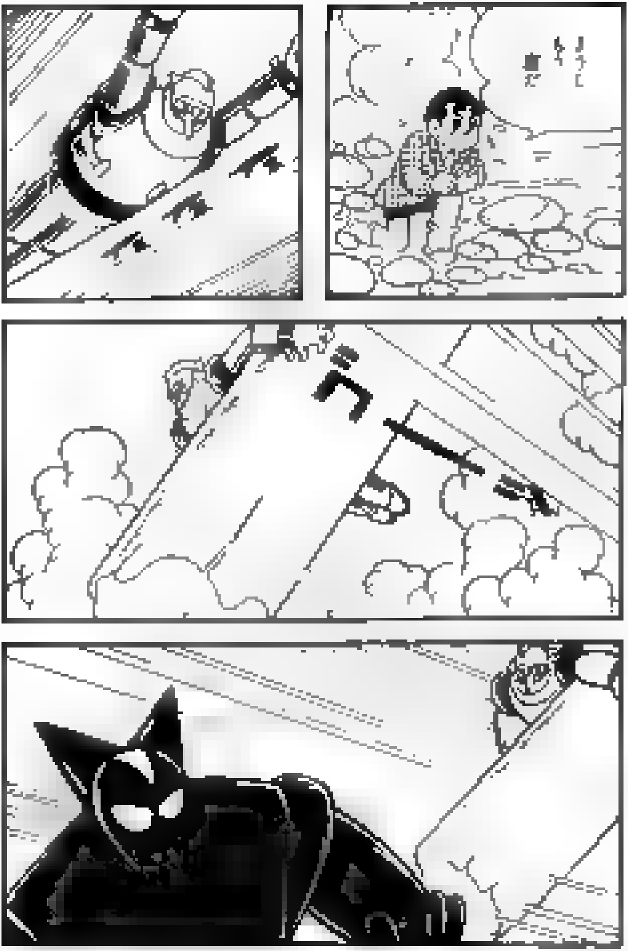
あれだけの砲撃を受けてもびくともしない
うむ そうなれば やれるだけ やってみよう
グワーッ

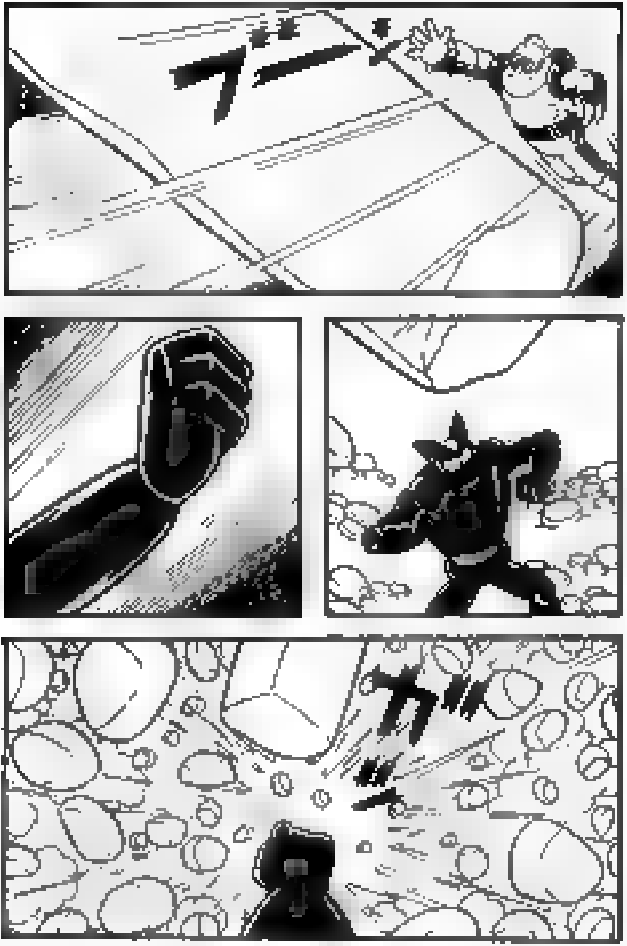


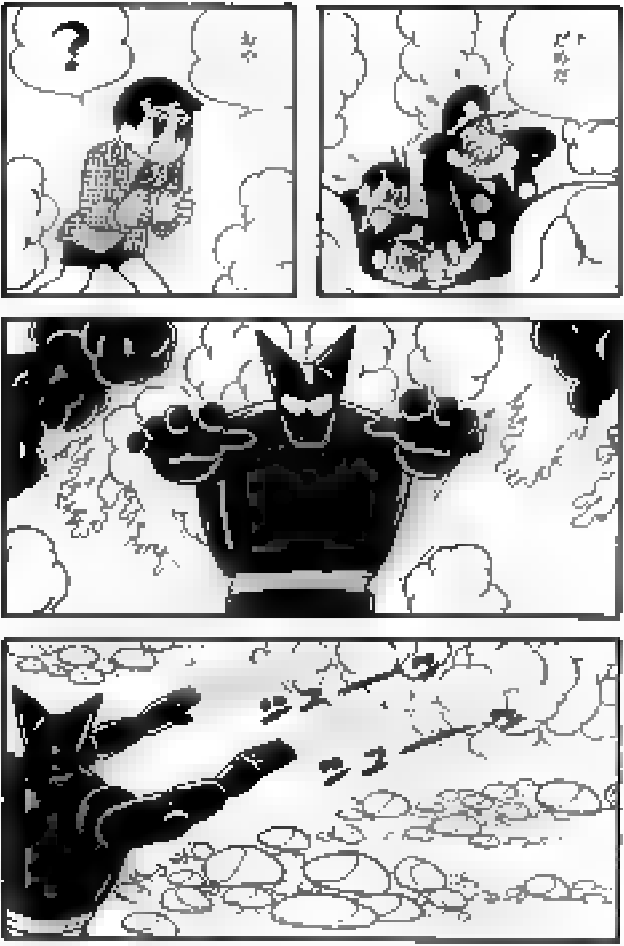












ゴボ
ゴボ
うわっ
ガスだ
ヒョッ
ゴボッ
ゴボッ
たすけて
ゴボ
ゴボッ

ブラックオックスのなぞ

わかりません
うん
行くんですか
大丈夫なんですか

なあ 今のは 少し大げさ…
ああ やはり 外の 空気は

よし すみかが見えたぞ
助かった 助かったぞ
よし 二人を助けてきたな
不良野士とタスケが帰てきたぞ

失敗しまして申し訳ありません
ばかめが油断をするからあんな目に遭うんだ
今まで殺人事件に関係した
あの正太郎
みんな正太郎を子供だと思って油断してかかるからだ
申し訳ありません

もう一度 私たち やらせて くださ
今度は 必ず やっつけ ます
うむ
よし もう一度 だけ チャンスを 与えよう
今度 失敗したら お前たちは
はっ

あの
くらべて
オックフの
ワァワァ
お前が

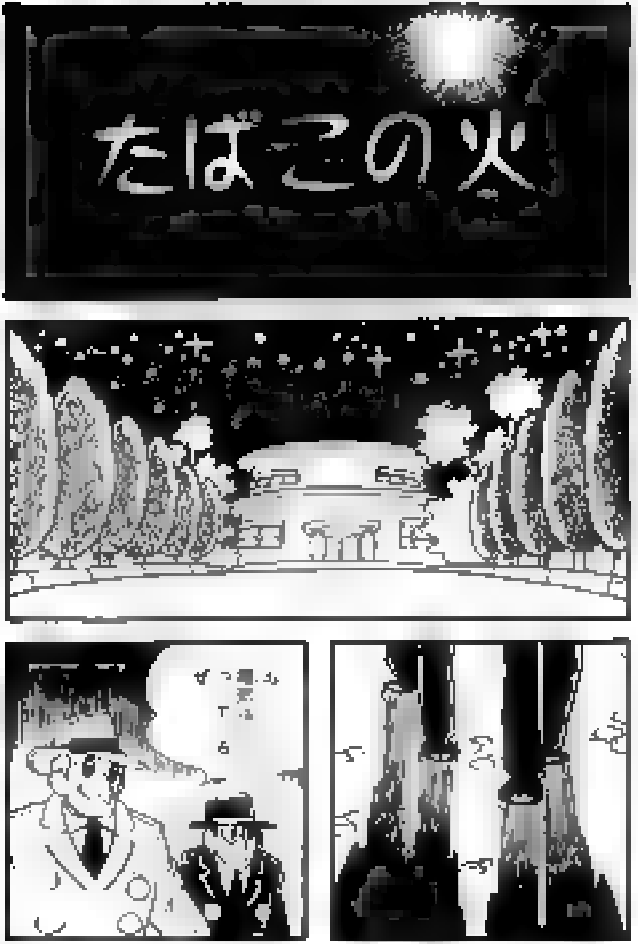
すんの 三週間 前のだ
む
ところが 今度は
どんな 方法で やる
そう ちょっとまて 今度
今度は もっと 慎重に やらないと ためだ
その 正太郎は

うん
うむ

そうだ
以前にもそんなことがあったな
エッ
正太郎くん
忘れちゃったのか
アカエイ事件の時だよ
あっ
そうだ
あの時も
鉄人は
あの
アカエイは
強力な
電気を出して
そのため
鉄人の電波が
乱れて
しまった
すると
今度の
宇宙ロケットも
電気を出して
まてよ

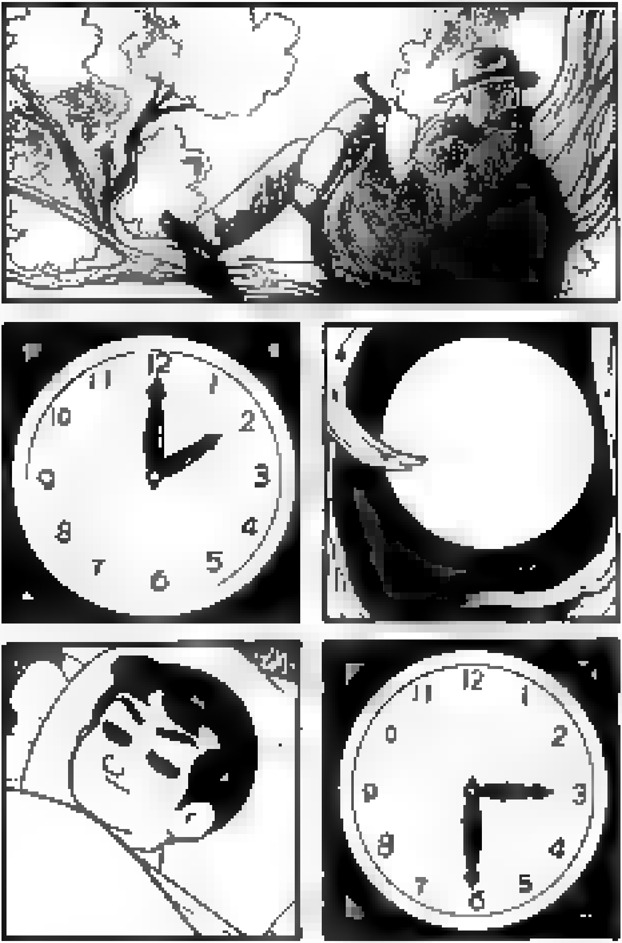
うむ

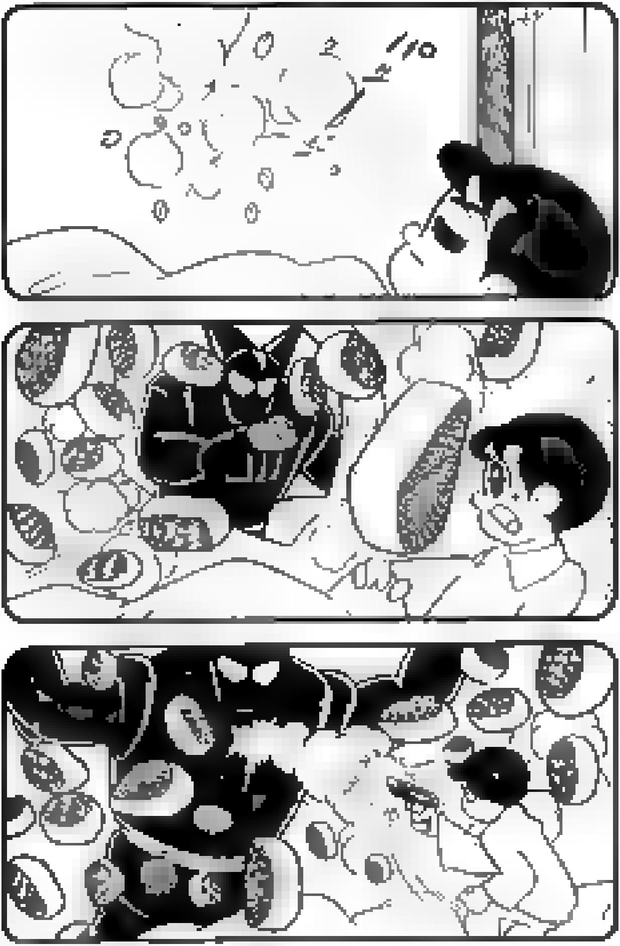
それに あの 男たちの 目的が 何で あるかも 早く 調べ なければ ならん
こいつは うかうか して おれんぞ
私ら その ロボットも 「鉄人」で 探しましょう
しますぞ


たばこの火

俺たちは拳銃しか持ってな
あの「小僧」が出てくるまでこの両側の木の上で待とう
木の上で左右正面二人で撃てばいいんだ
や とうする
それでやろう今度は失敗するんじゃ
よし

じゃ 明日の朝まで 正太郎の命は

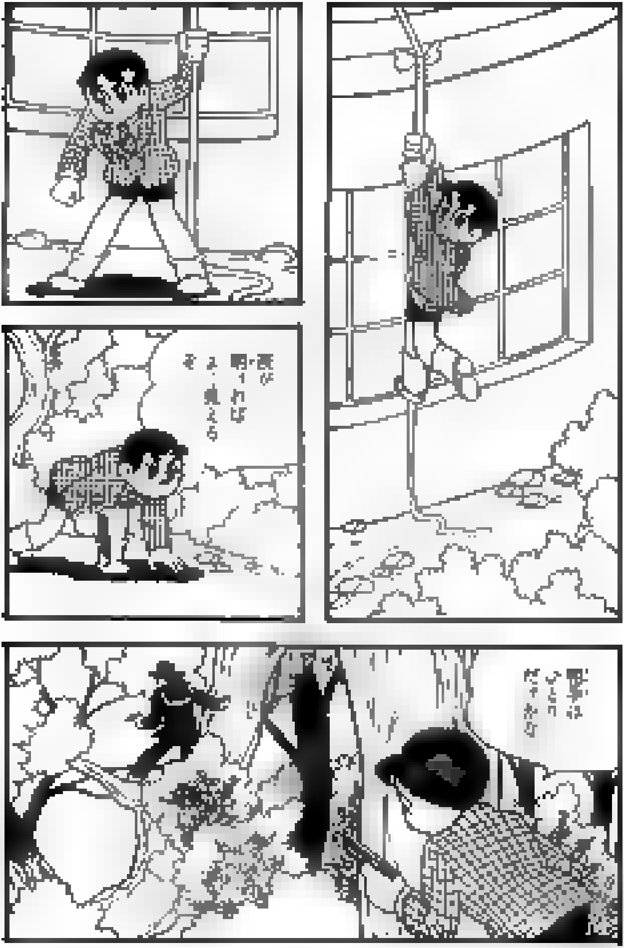




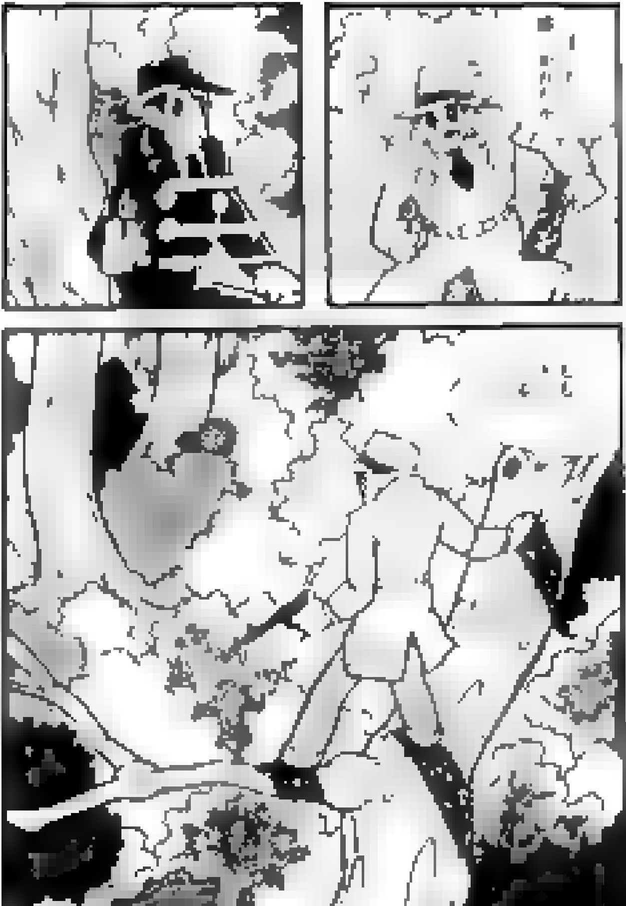
なんだ
夢か。
ああ

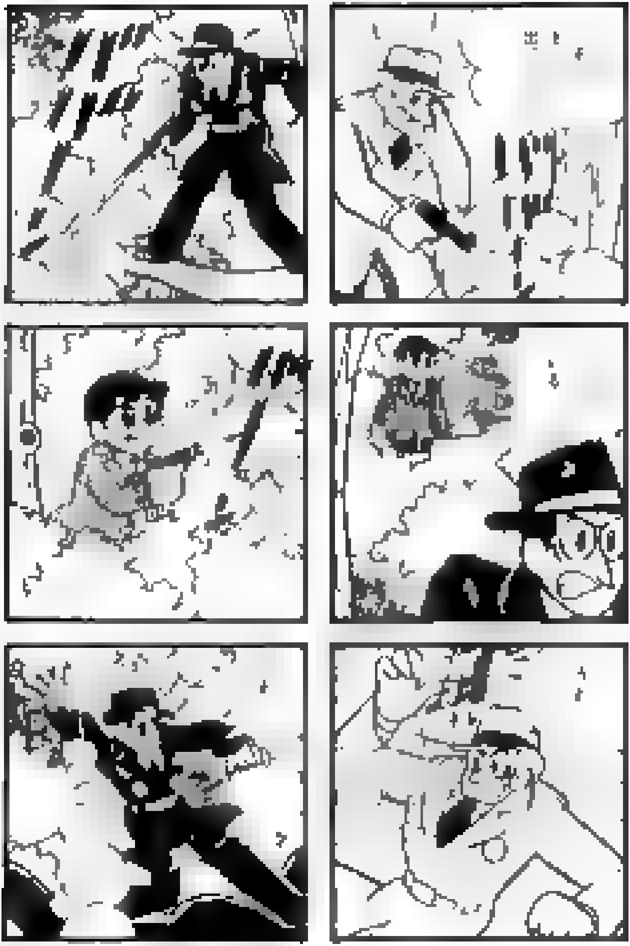
ピカッ
あれは
たぶんこの
木の上で
たばこを

ムッ 夜が明けたか いつの間にか 少し眠ったか
ふふ もうすぐ 正太郎が 出てくるよ

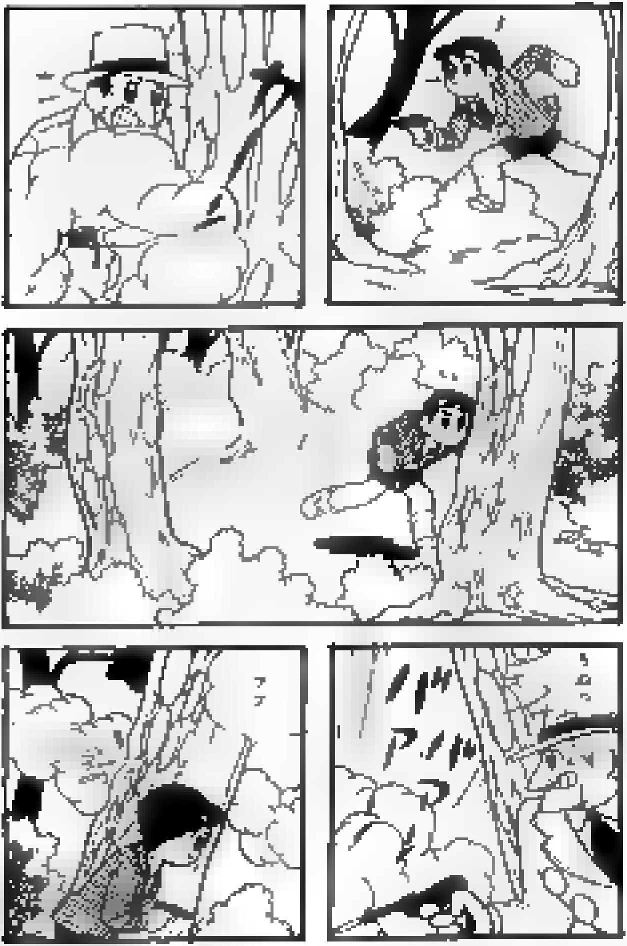

夜が
明ければ
み・見える
ぞ
影は
ひとり
ぼっちか

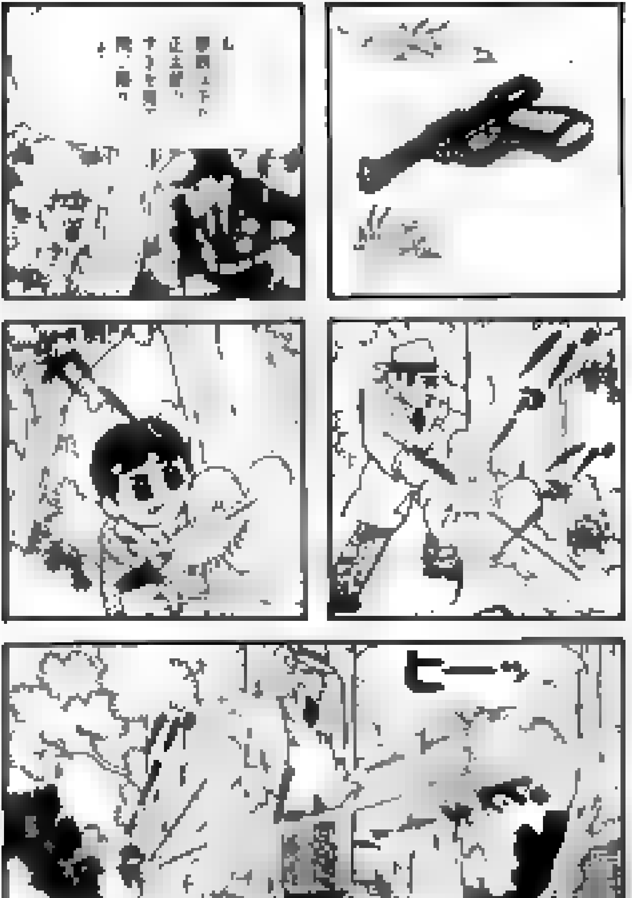
よし
三人だ
!





うぬっ


ア!!



ヒ——ッ

正太郎くん
こっそりと
ような
なにっ

カッ
もし
その間に
正太郎

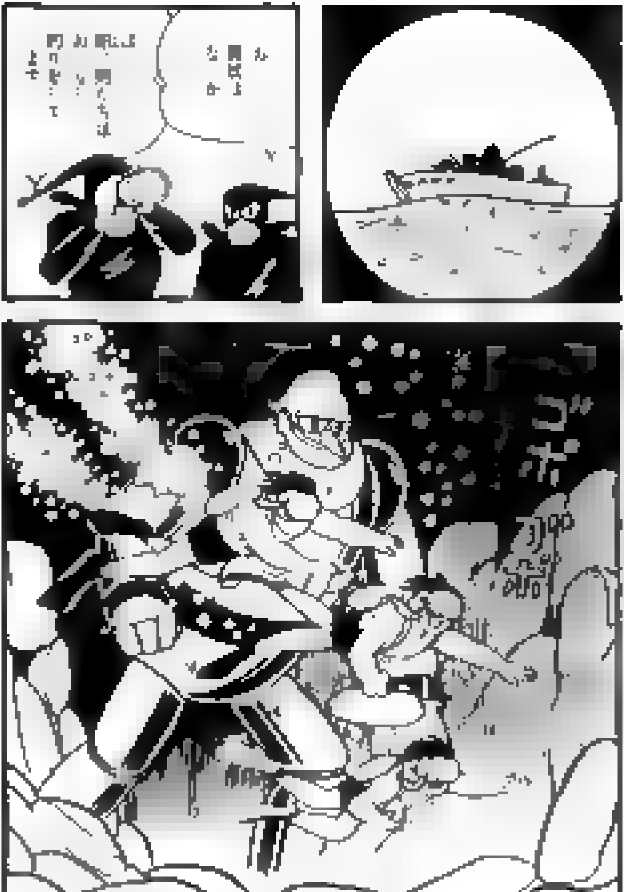
うむ
負けた
正太郎くん
やあ

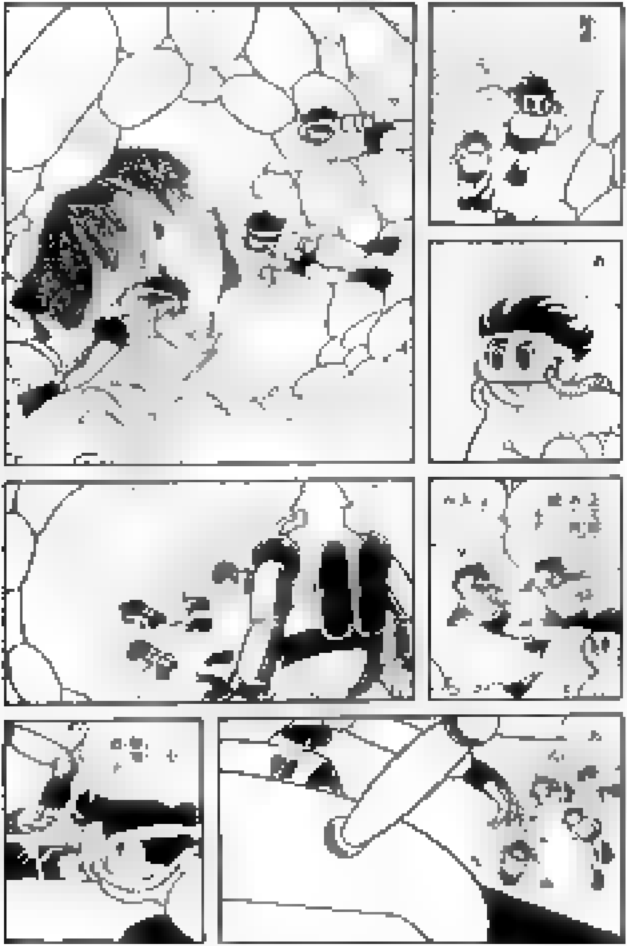
押しかけて
来るのを
待ってる
つもりは
ありませんよ
今度は
こちらから
押しかけます
きっと
あの辺で
うむ
よし
わたしも
出よう
ええ

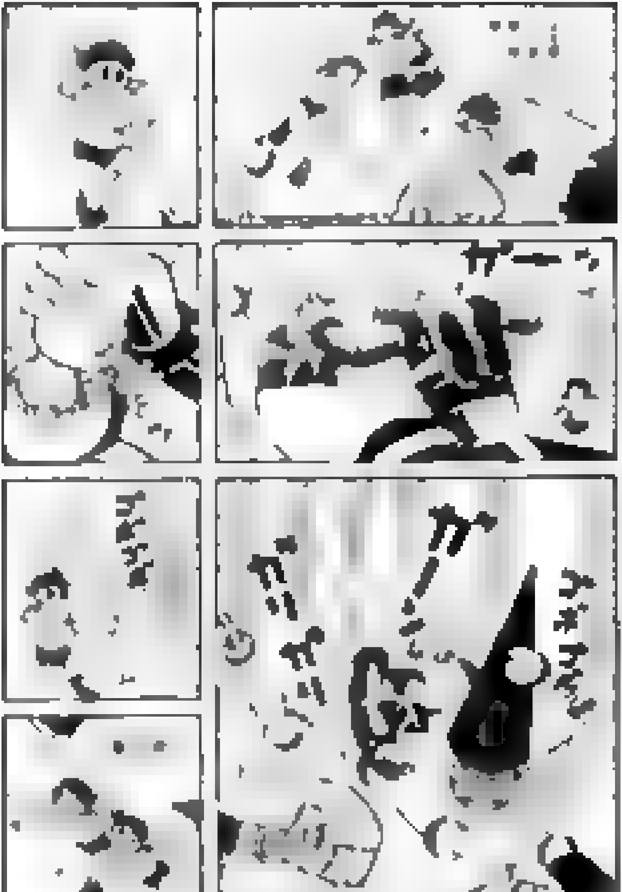
ポ
ポ
ポ
正太郎くん わしの どうみても 釣り好きの おやじ… 見えるだろう
ん
そのため わざわざ
ですからね
監督… そろそろ
よし そろそろ 釣りを 始めよう か・

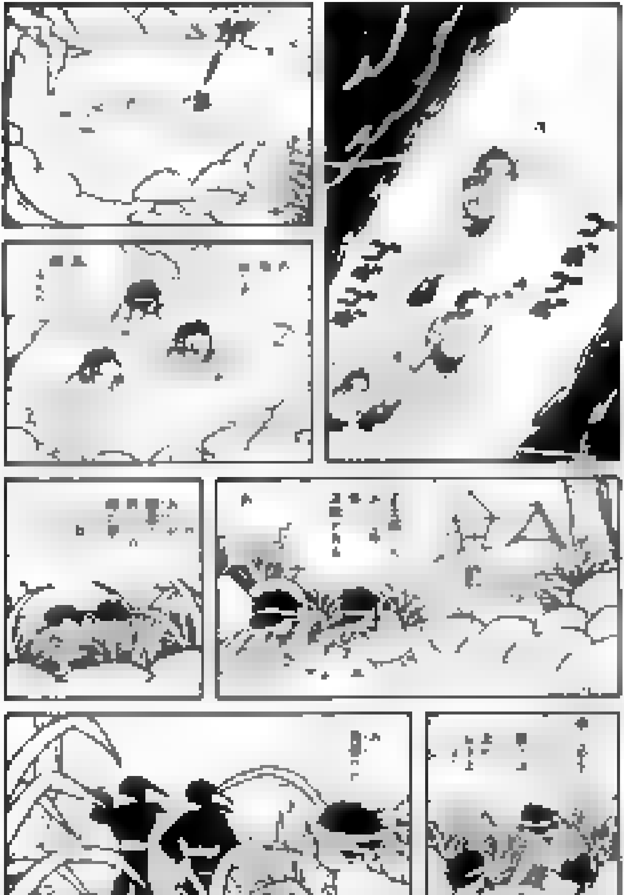
は
はッ

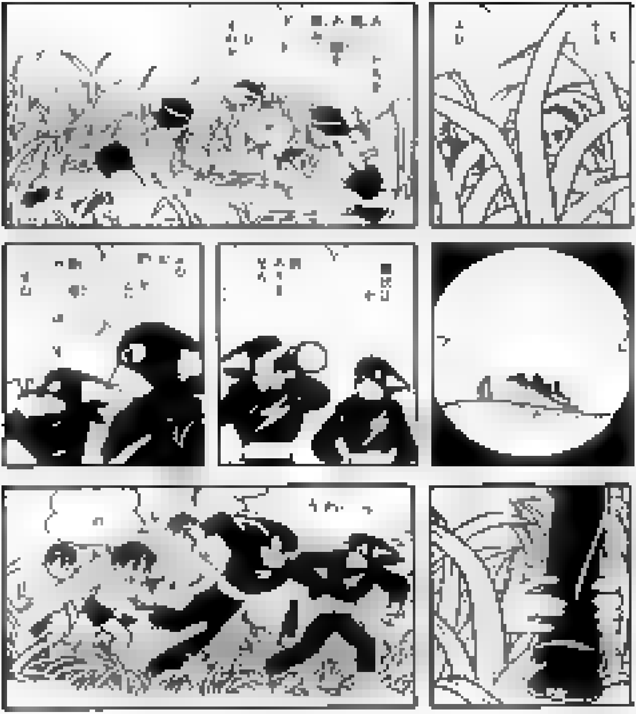
じゃ署長さん行ってきます



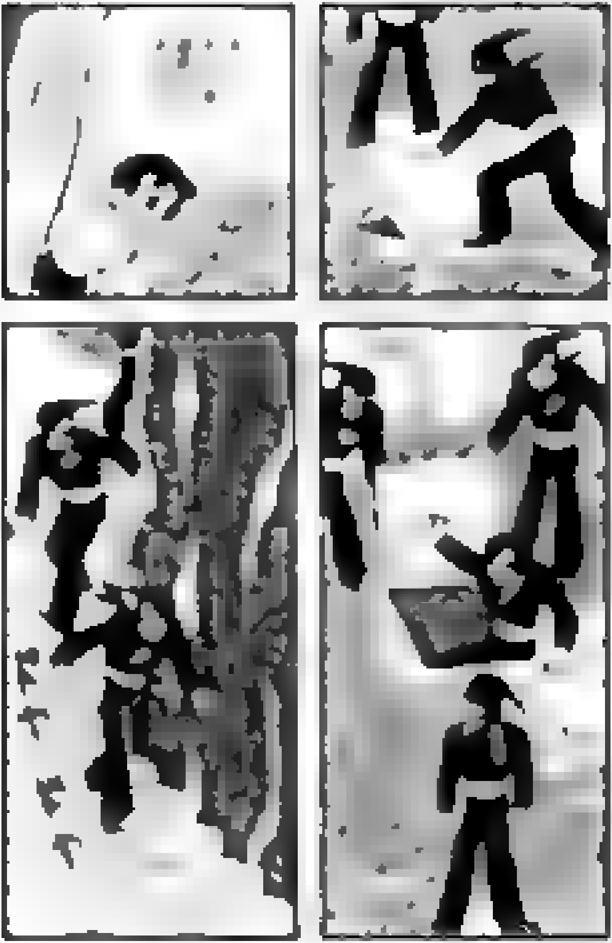


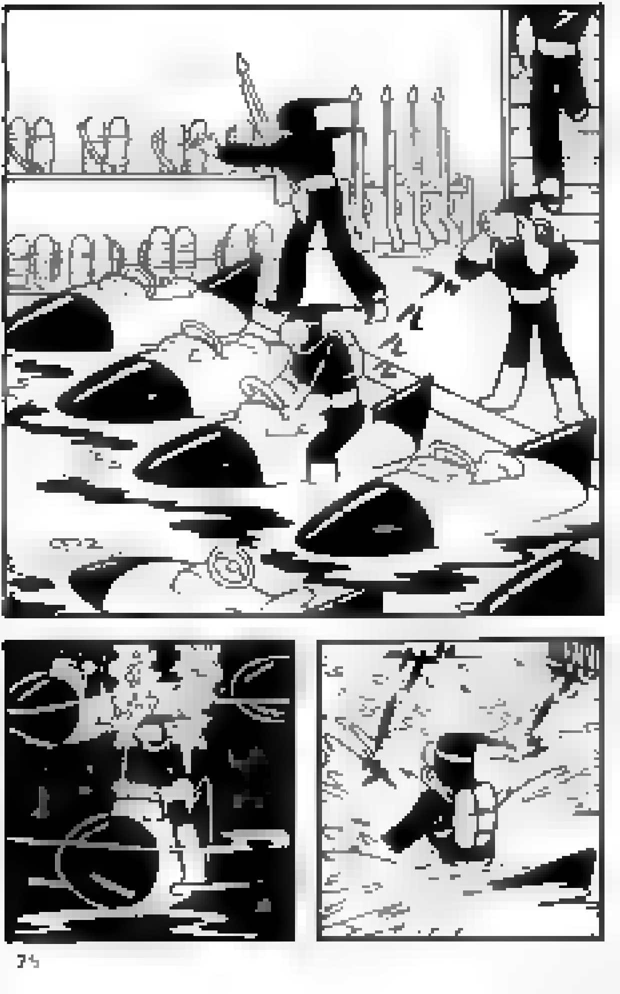


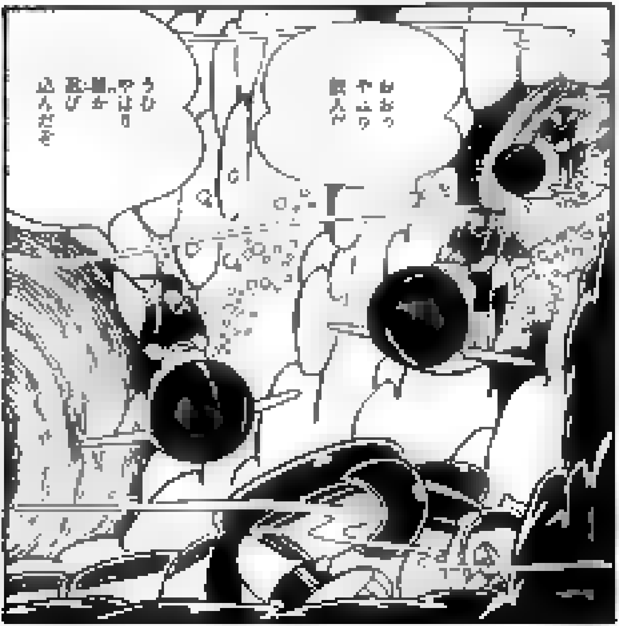


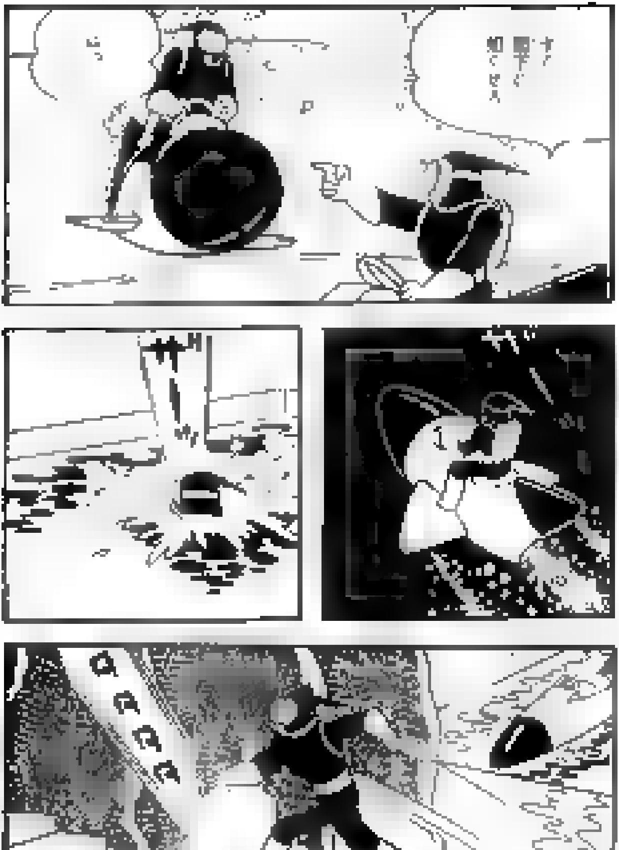


鉄人とオックス






おおっ
うむ
やはり



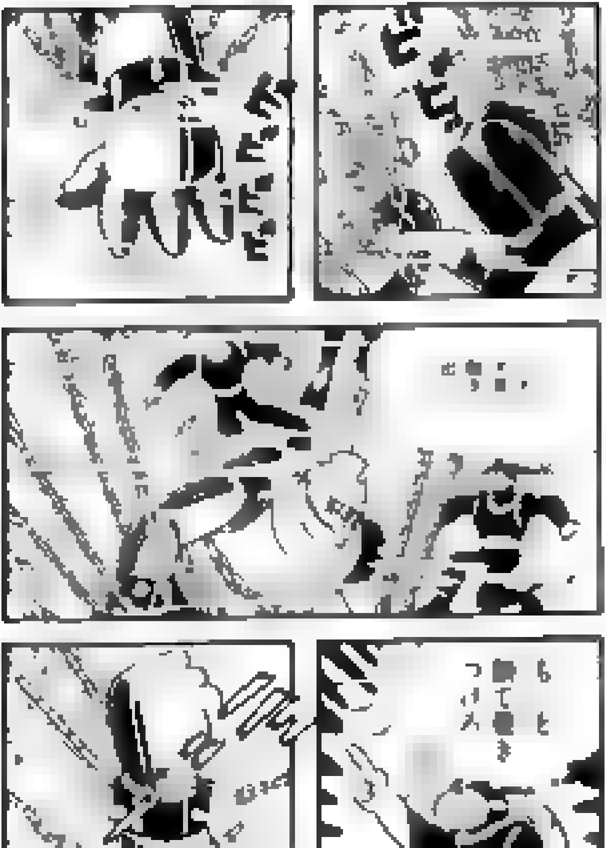
む よくわかった
やはり殺人だぞ
すぐ部下に知らせん
しまった

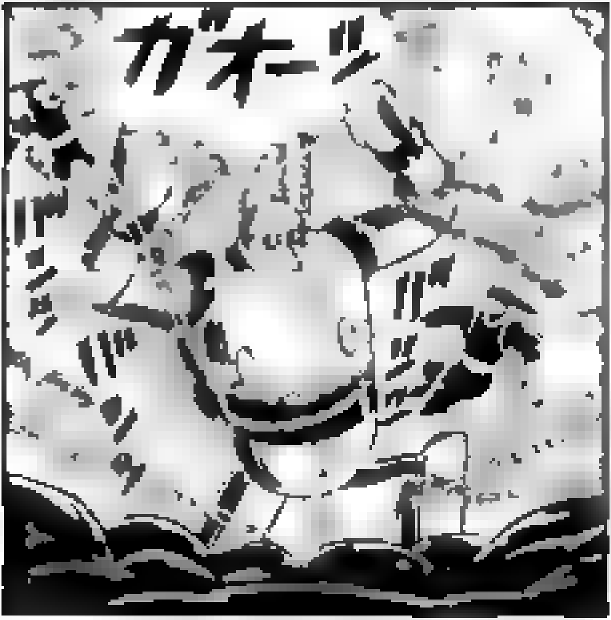
よし
全員で
捜せ
は
はっ

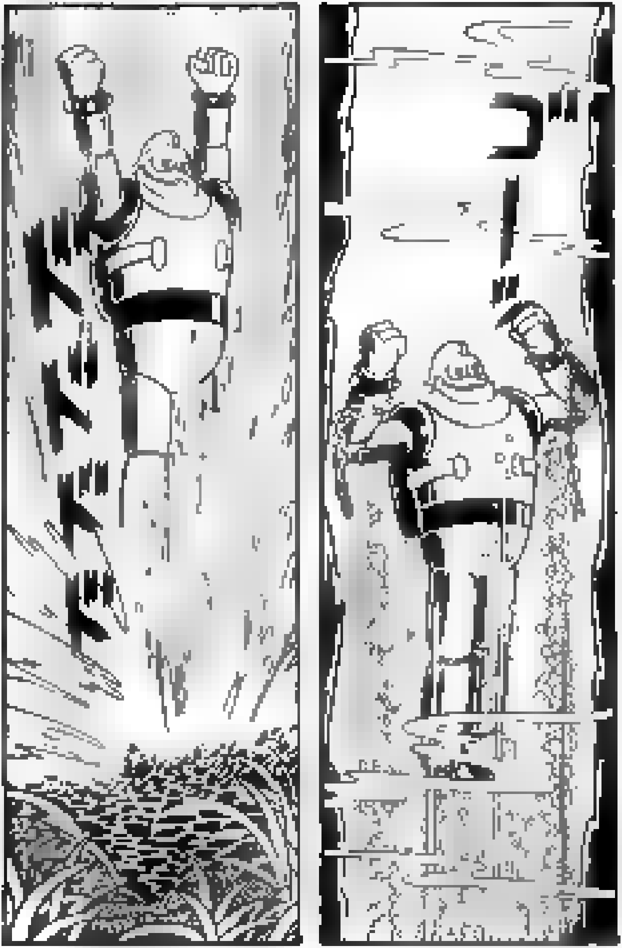
むッ
ふむ
すると
よし
ザワ
ザワ

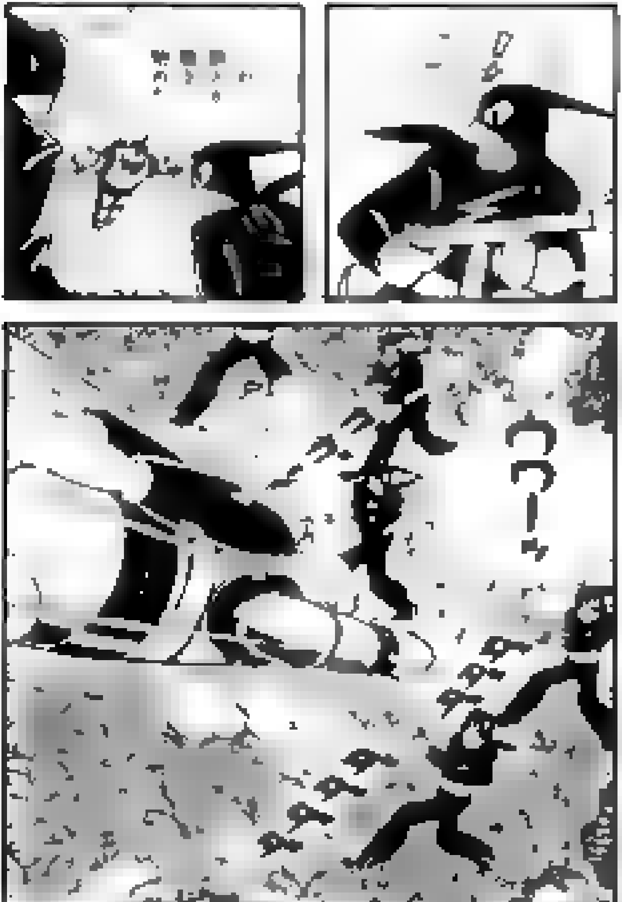
ザク
ザク
ザク

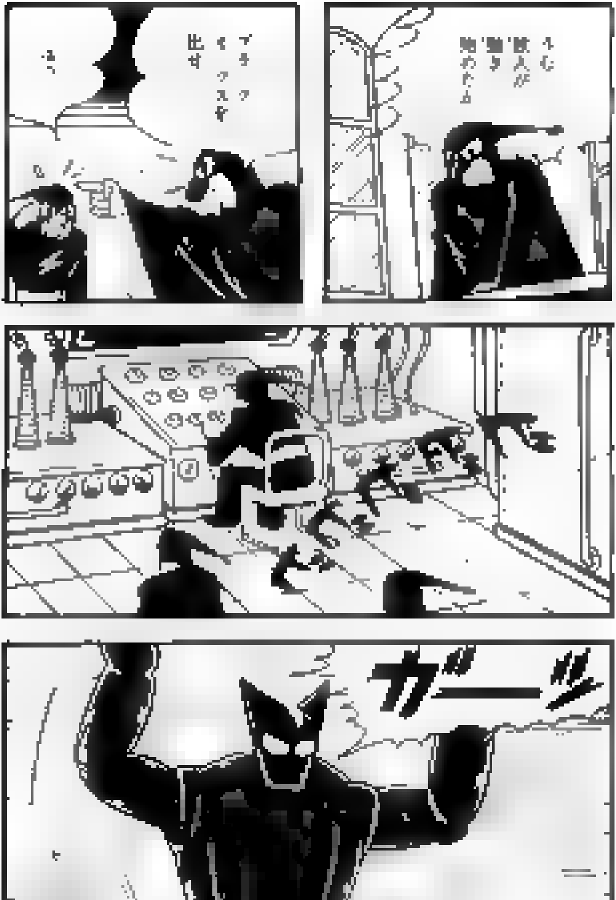
ガラガラ

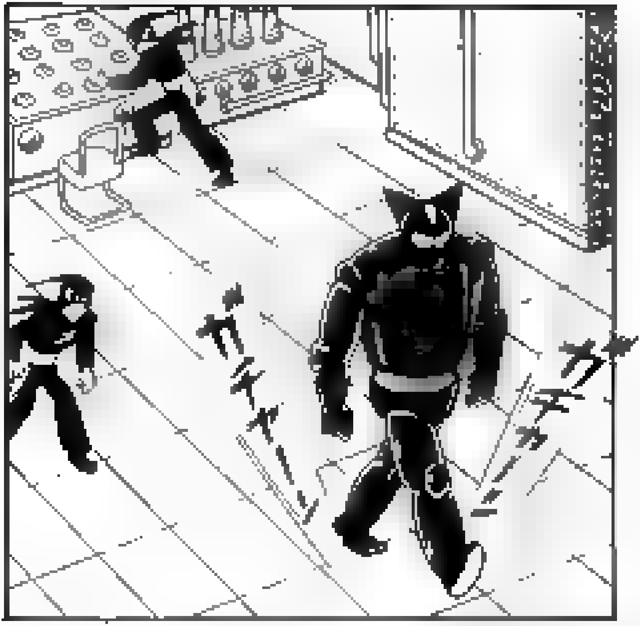


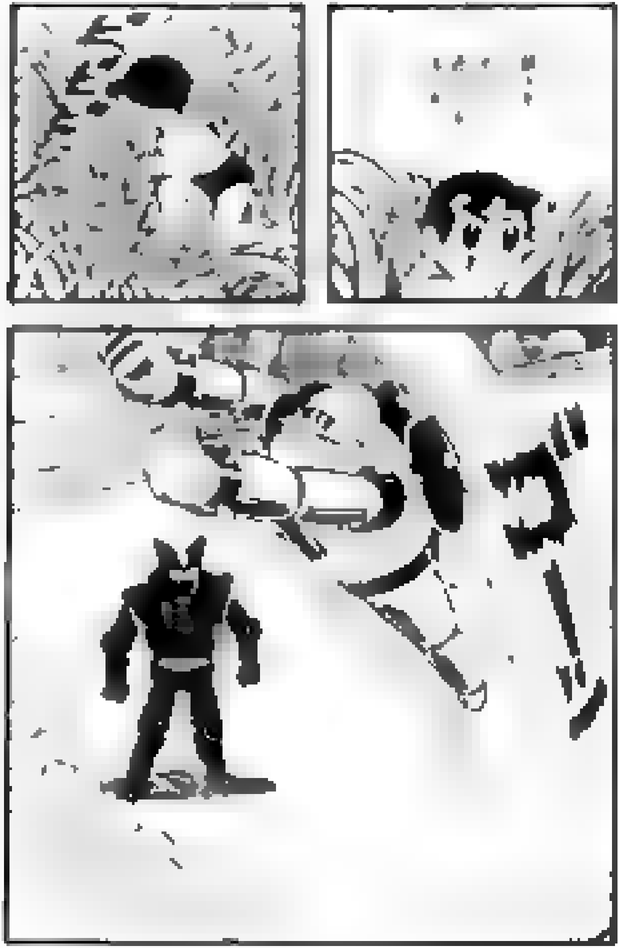

ガオーッ

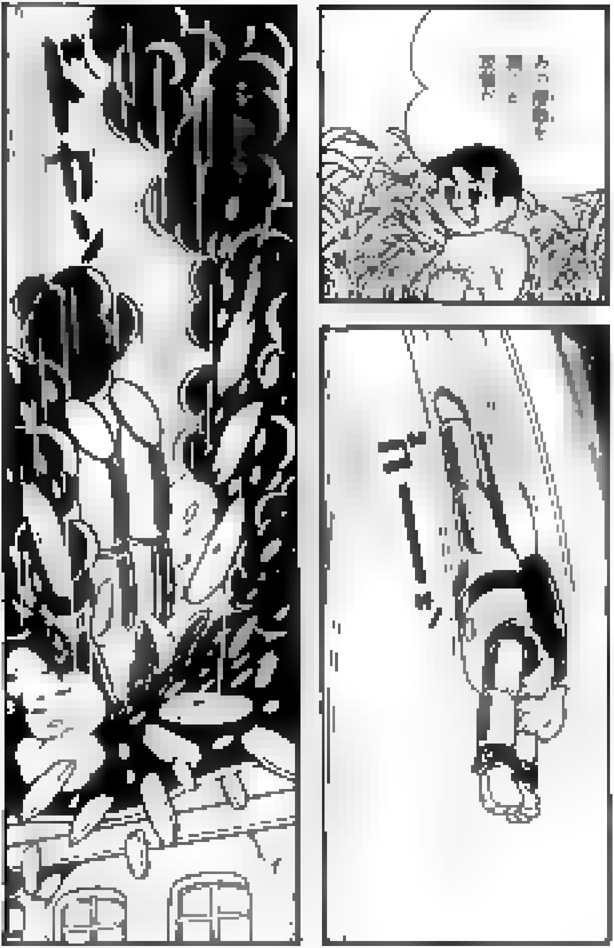

ゴーッ
ドドドド


ウワーッ


ふむ
鉄人が
動き
始めた
ブラックオックスを出せ
はっ
ガーッ






ドカーン

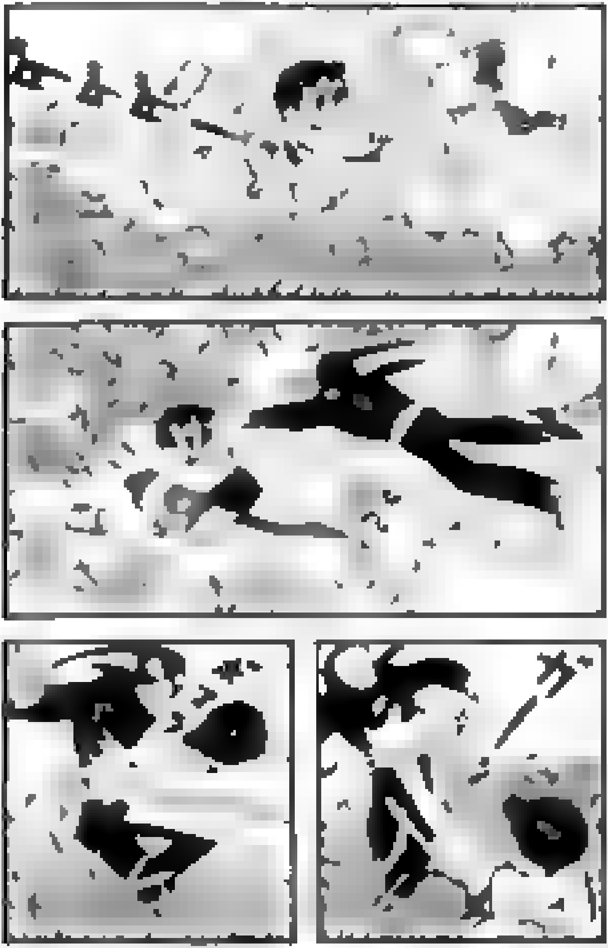
ガラガラ
グーッ
イョ
イョ
イョ

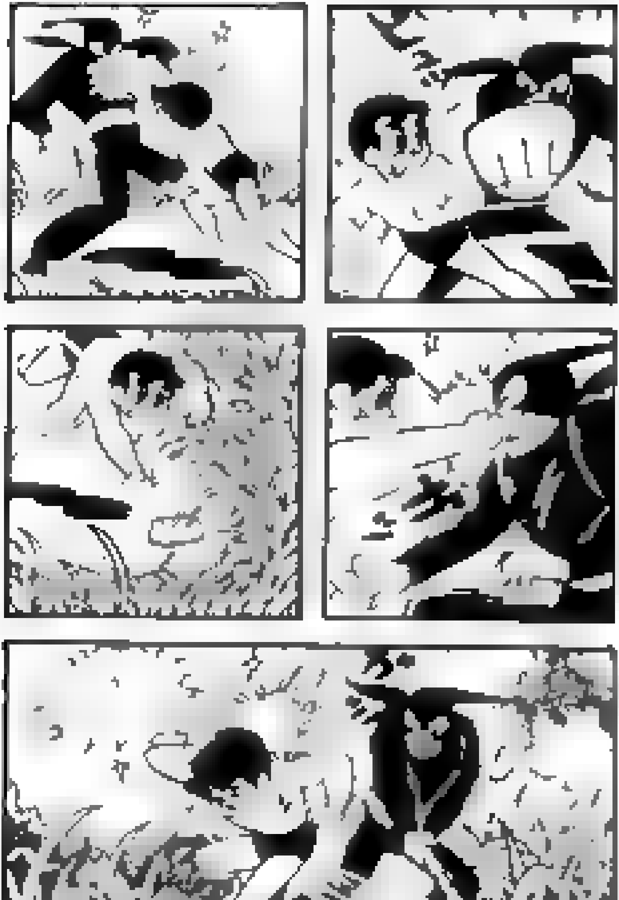
ガラガラ
どどど

ガーッ

ガーッ

みんな あわてて 逃げ出したぞ
鉄人も 動かしてくれ
あそこ
そら これでも くらえ





閣下 正太郎を 捕まえ ました
そうか みつけたか
大胆不敵な ふむ やつめ
よし 地下に 監禁して おけ
はっ

待て
その秘密は

うむ
現われたのは
あの釣り船
よし

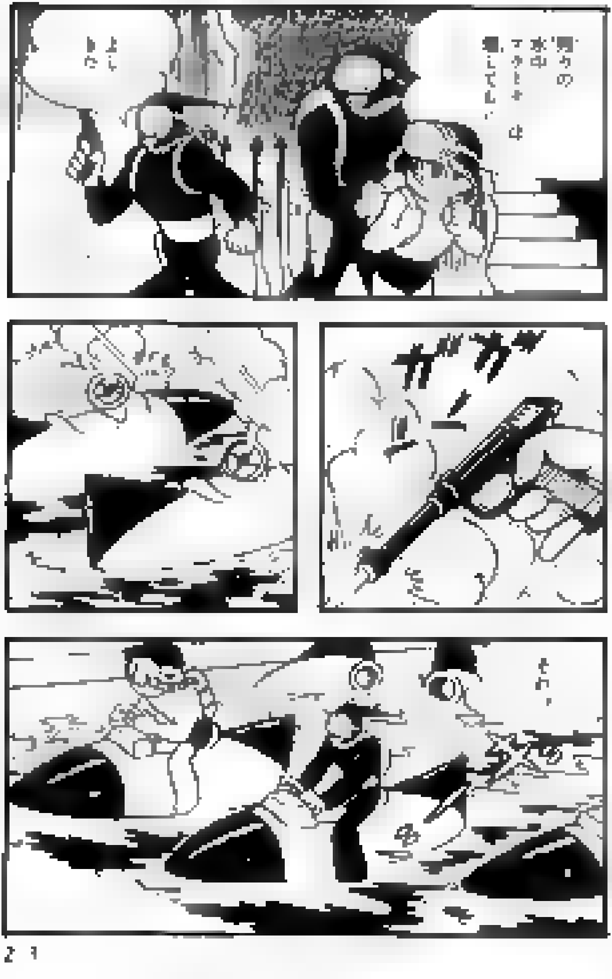
全員マスクを取れ
よし

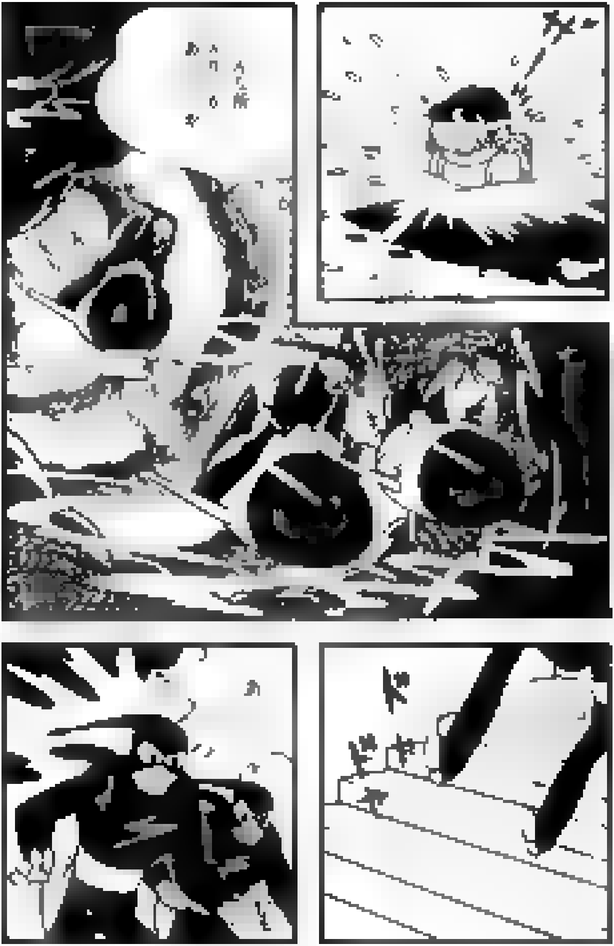
みんな無事!?
うむむ
あっ人数がふたり足りないぞ
なにっ
む
正太郎や

の中!?
また
あのふたりが
それから
あの船の

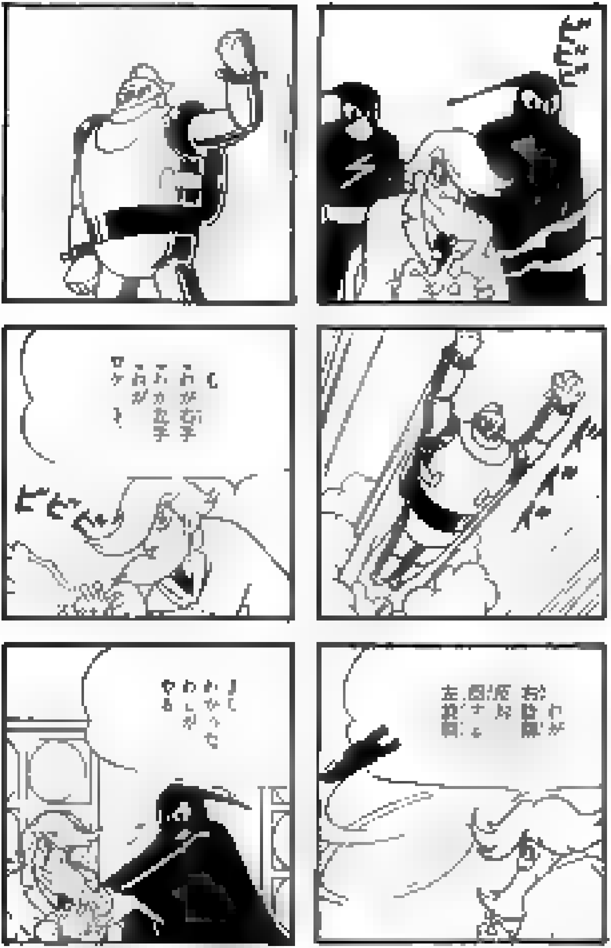
うばわれた鉄人

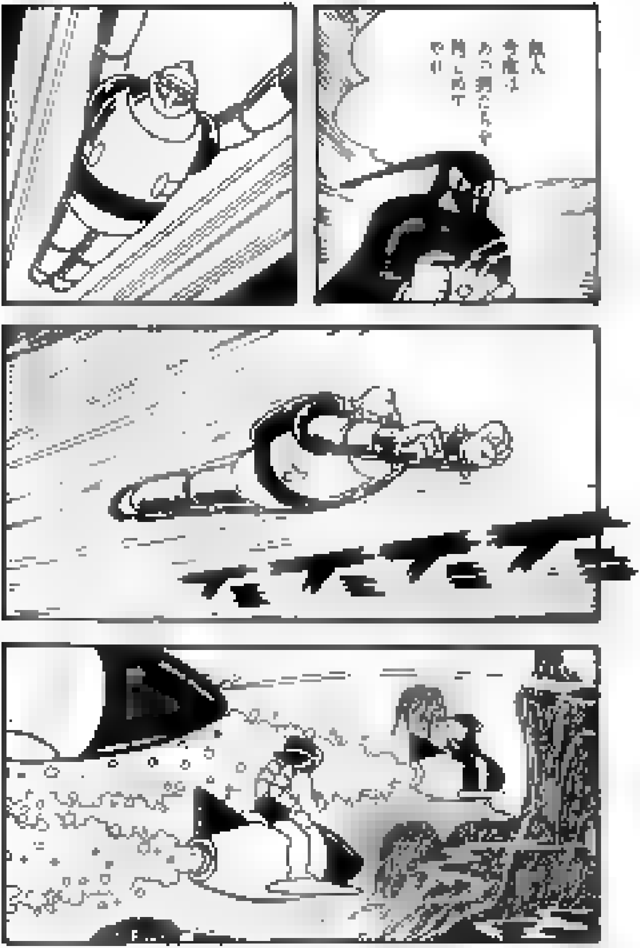
ウロッ
あわてるな


よし
きた
ガガ



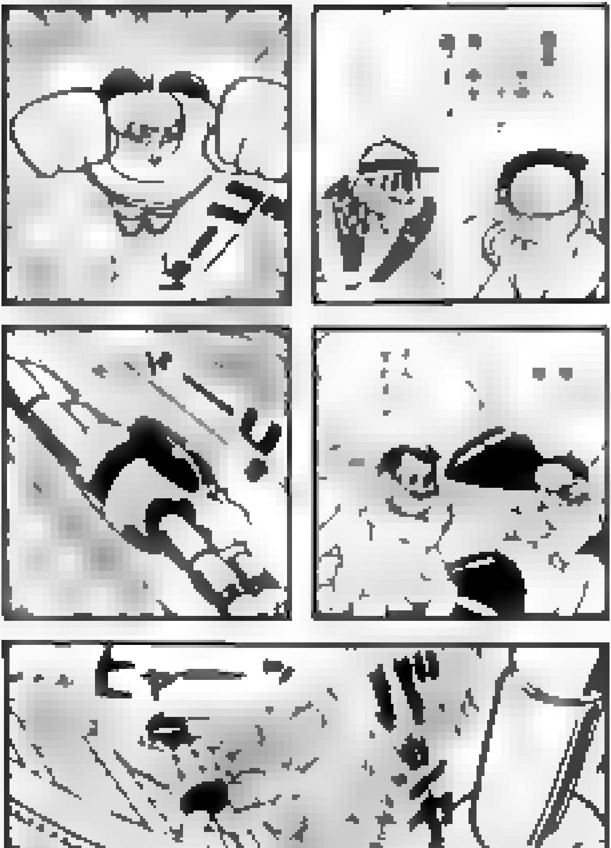
「閣下」
本日
「スッ」も
学級通りで
ます
うひひ
じゃな
閣下を
使えば
うむ
しかし
この閣下の
持ち方が
わからん
わしが
調べ
やろう


よしわかったわしがやる

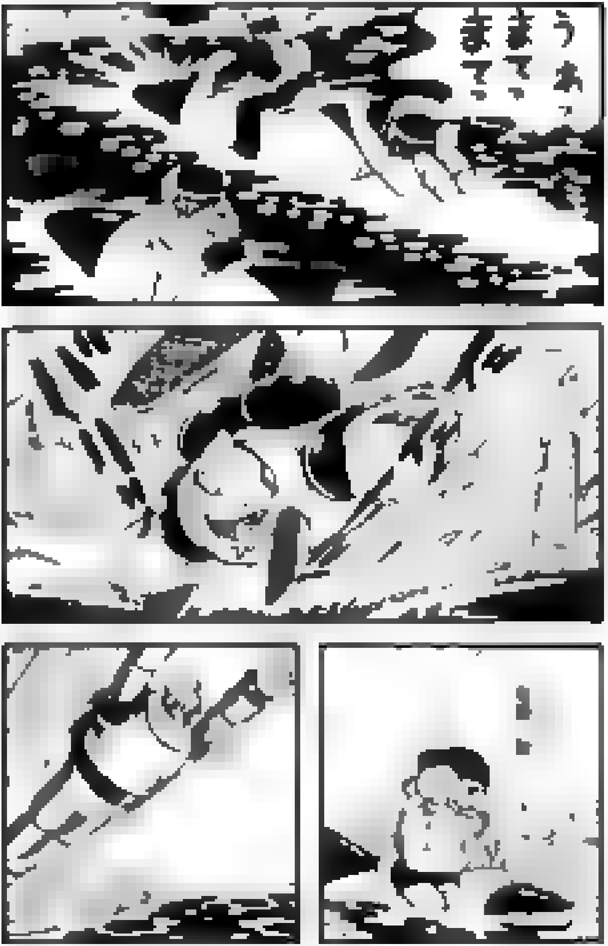


あっ
うわっ
あっ

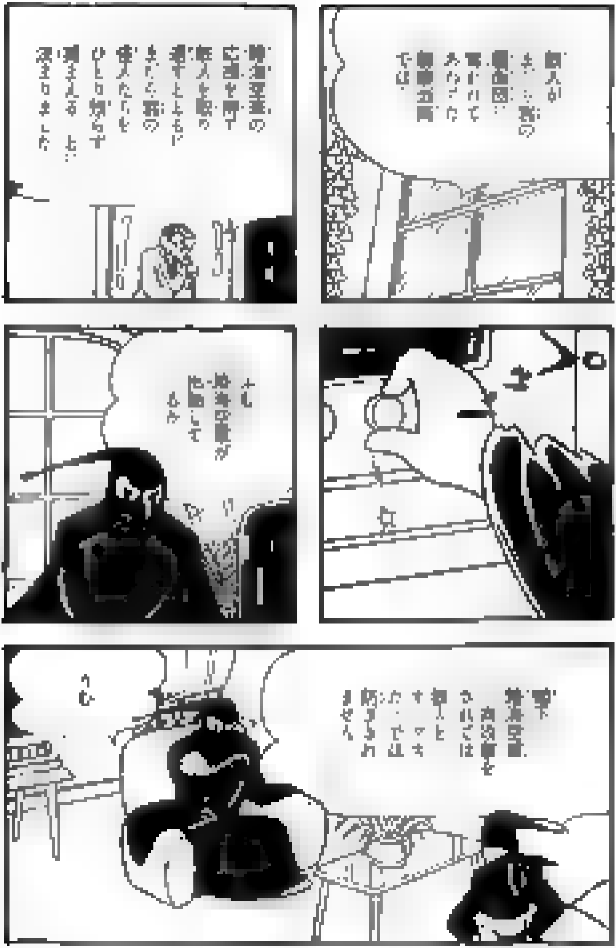
おまけに 鉄人の 設計図まで 奪われて しまったんです
なんだと



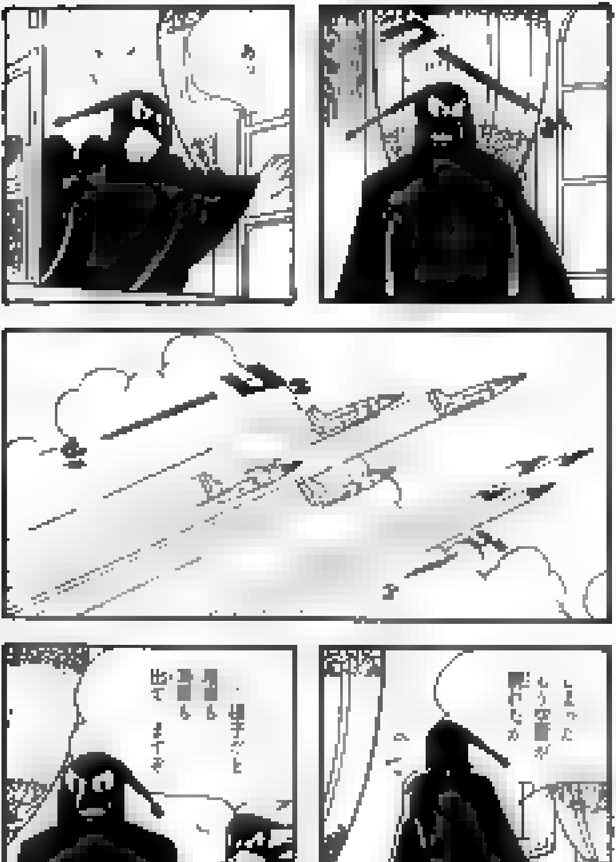
ウワァ
それ、
今のうちだ

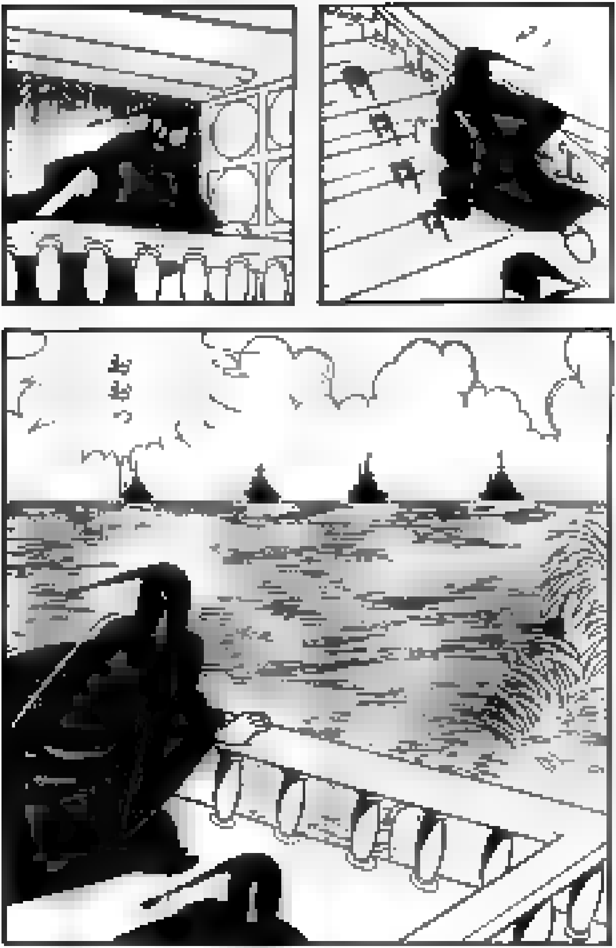

うあっ
まてっ
まてっ

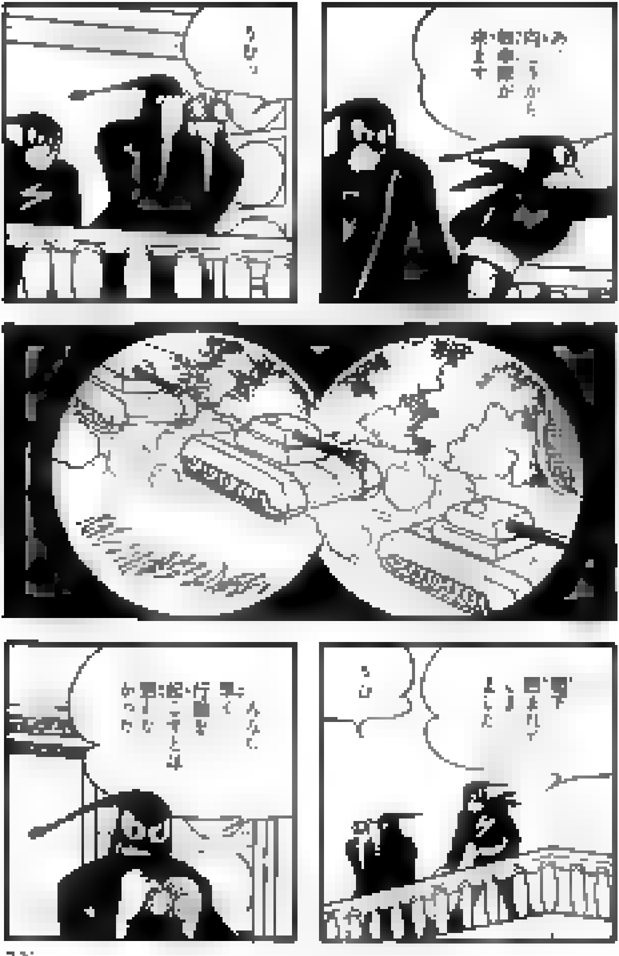
陸海空軍出動
申し訳ありません
うむ
なんとしても
なくては

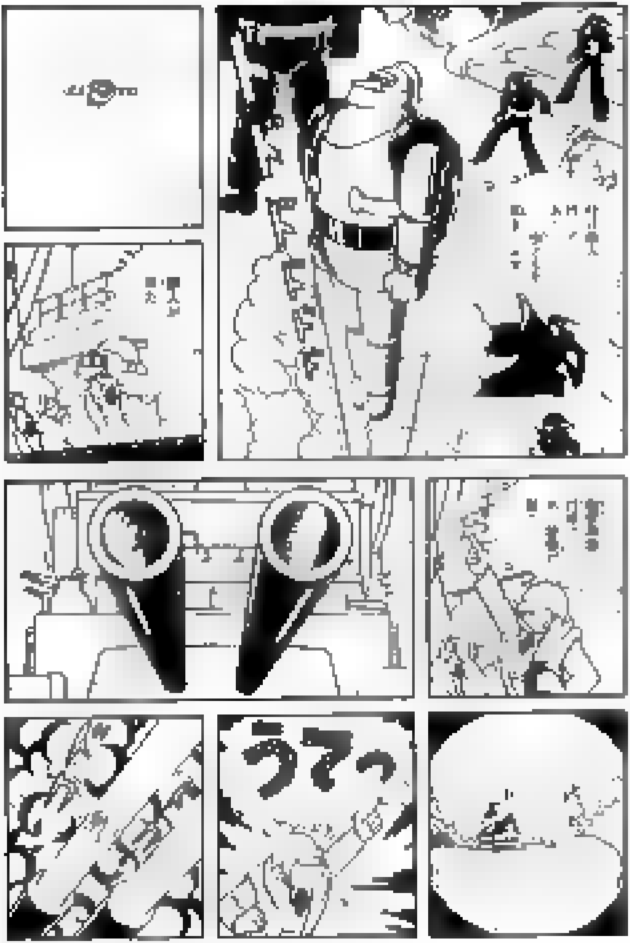

よし
陛下
うむ

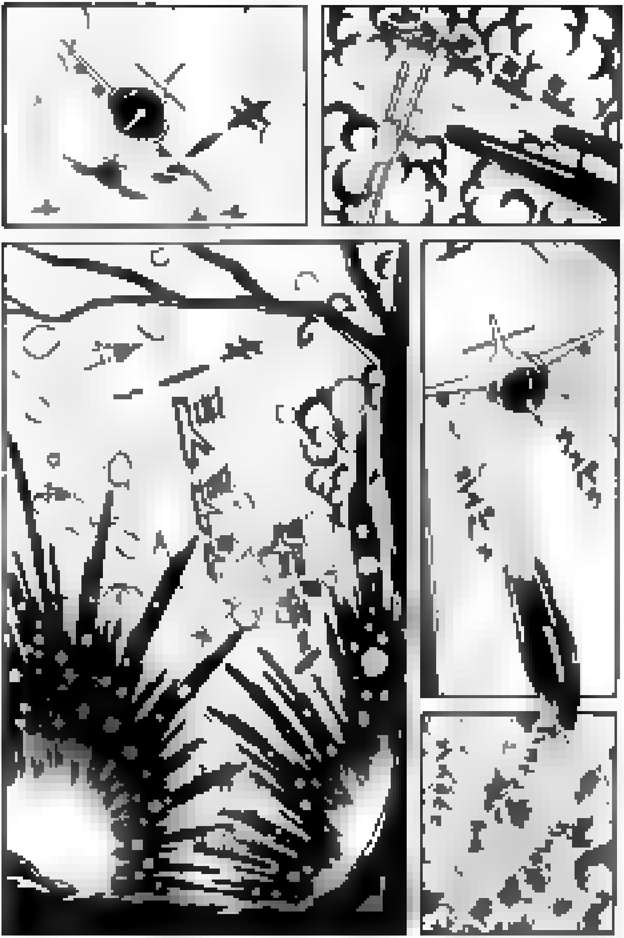
は
よしっ

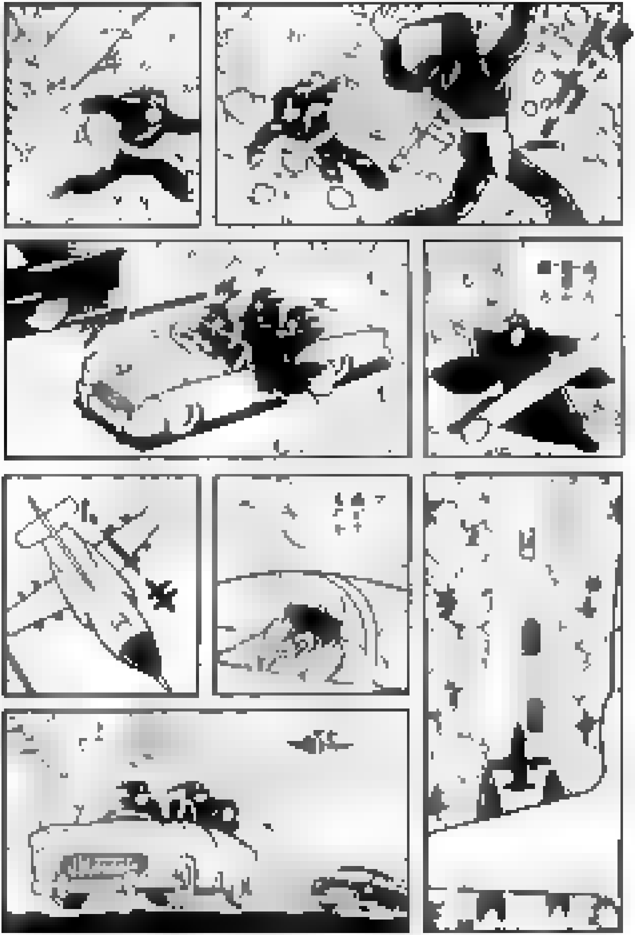

しまった

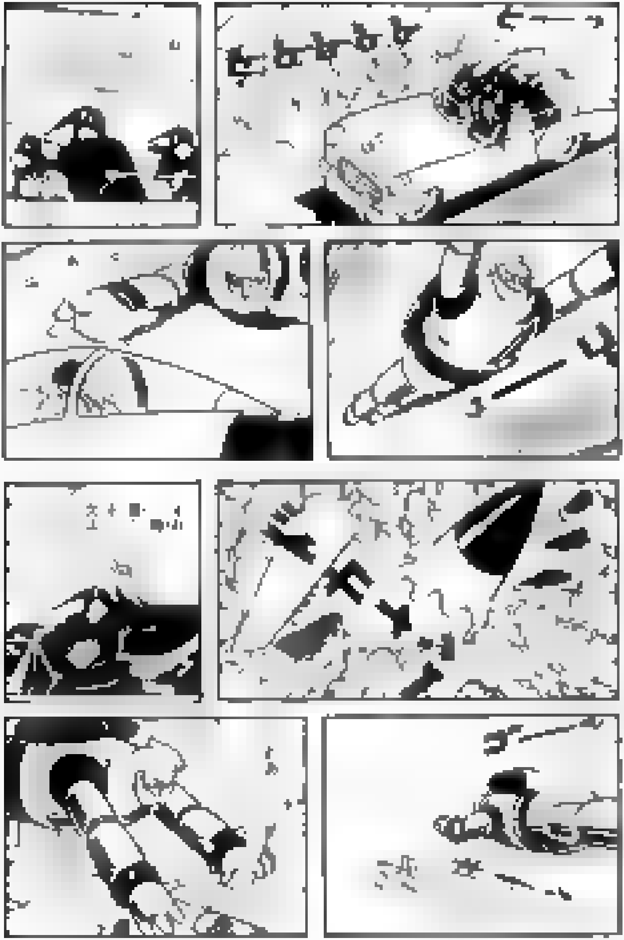

おおっ

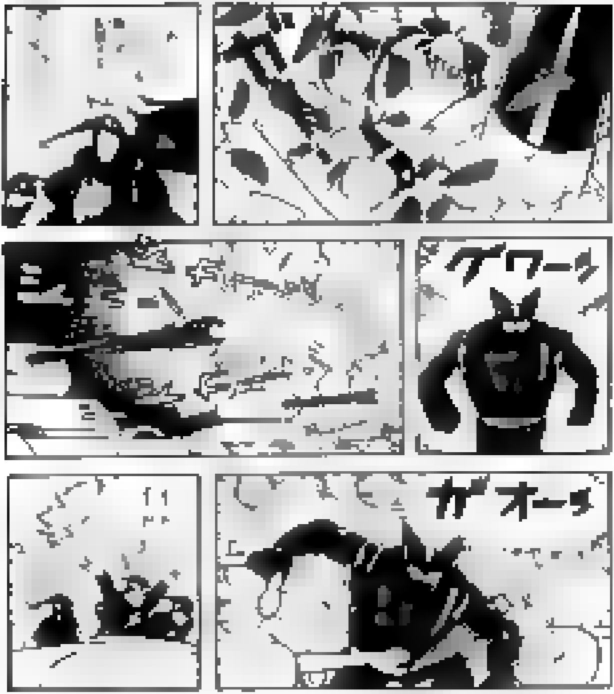


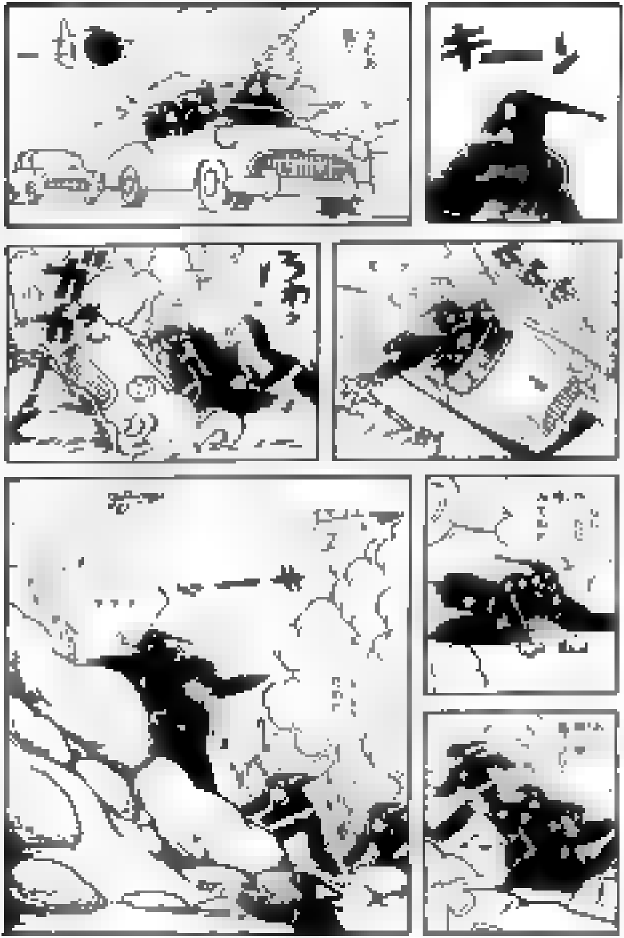

うてっ



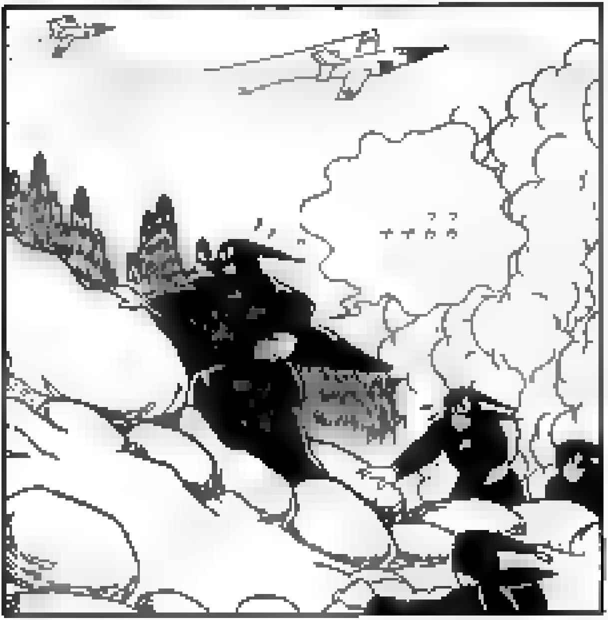





グワーッ
ガオーッ


キーン

おそいかかる鉄人

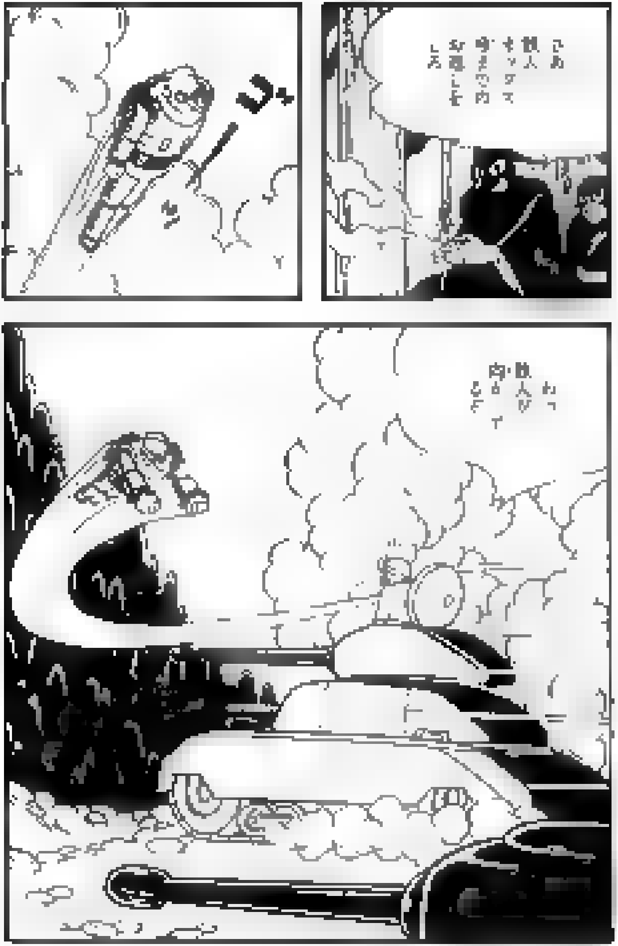


ヒョーーオ
ダ ダ ダ
ダ ダ ダ
うわーっ

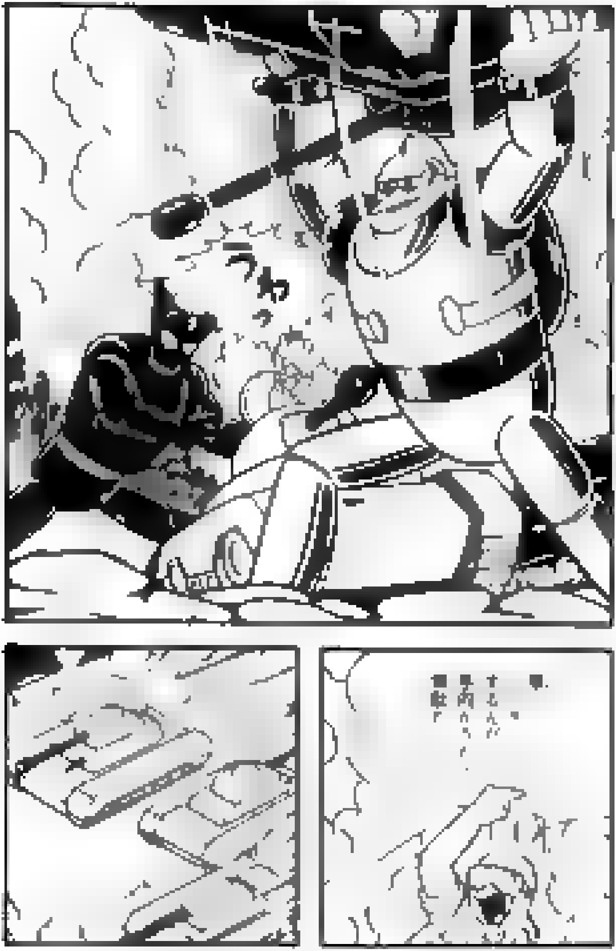
もう だめだ
がんばれ

ヒイ
ヒイ
アアア

よし やつは 隊長の お出ましか
しょうこりもなくやって くるものだな



隊長
右手から
あの
ロボット
ですゴーッ
うわあ

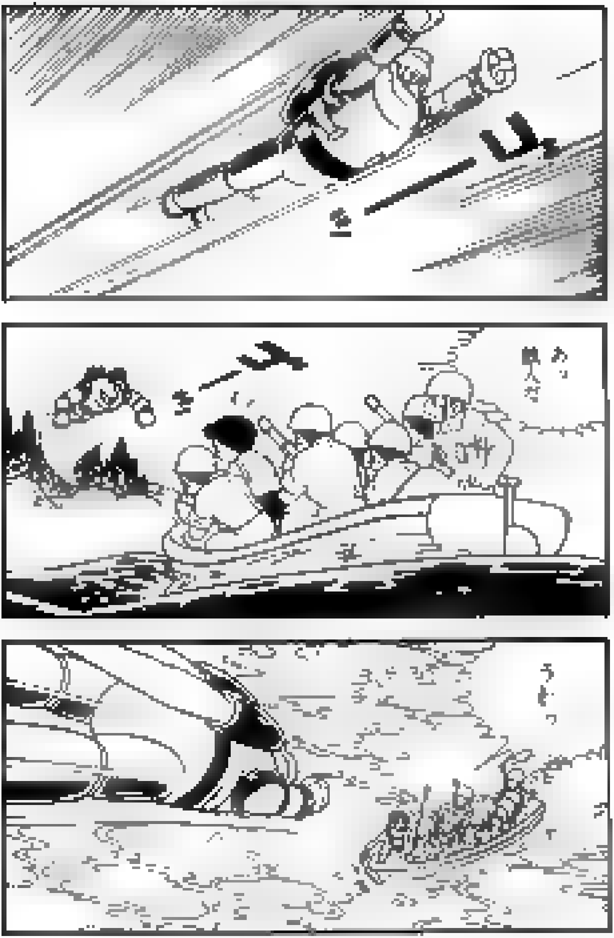

うわっ

コナン
コナン
やっつけろ

なに

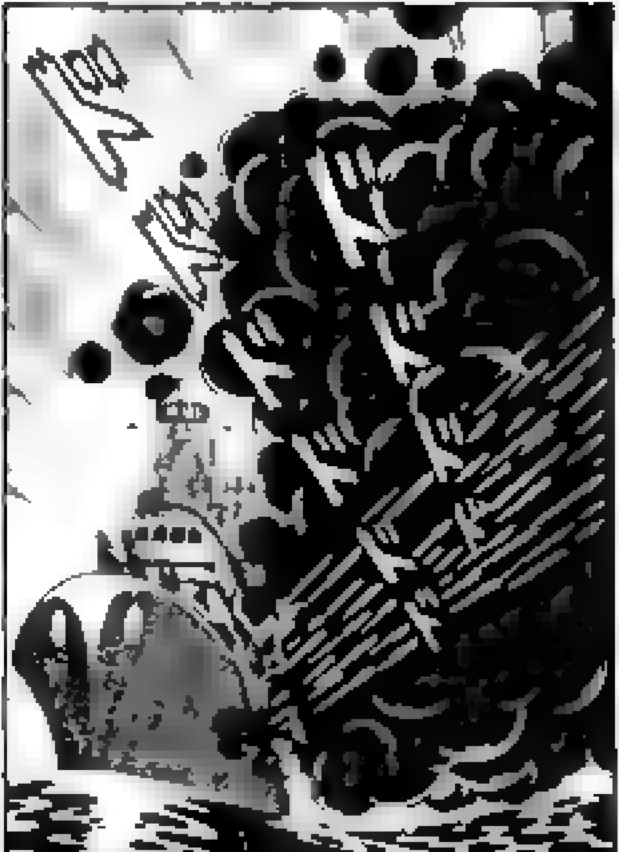
正吉君 何だね
うむ

正太郎だ
目にものを見せてくれるぞ


きーーん
きーーん
あ、飛んだ

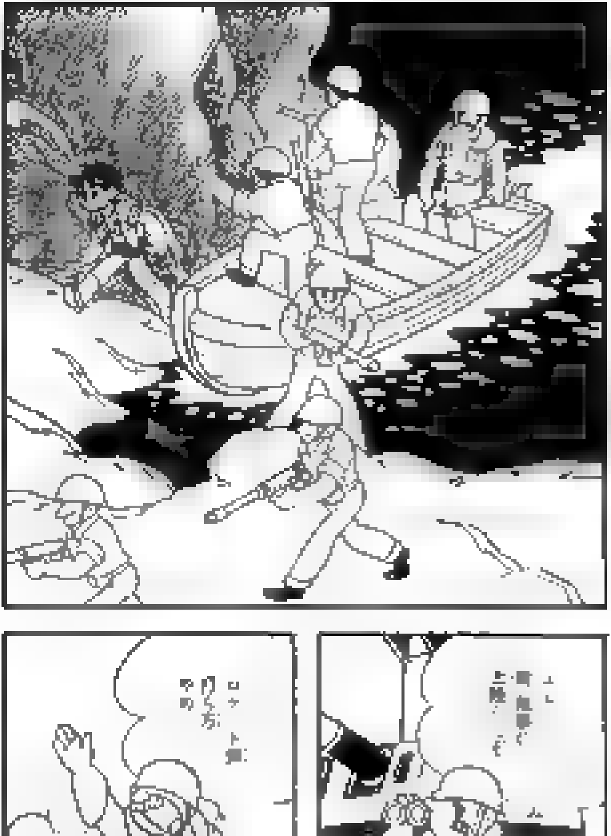
ひょっ!

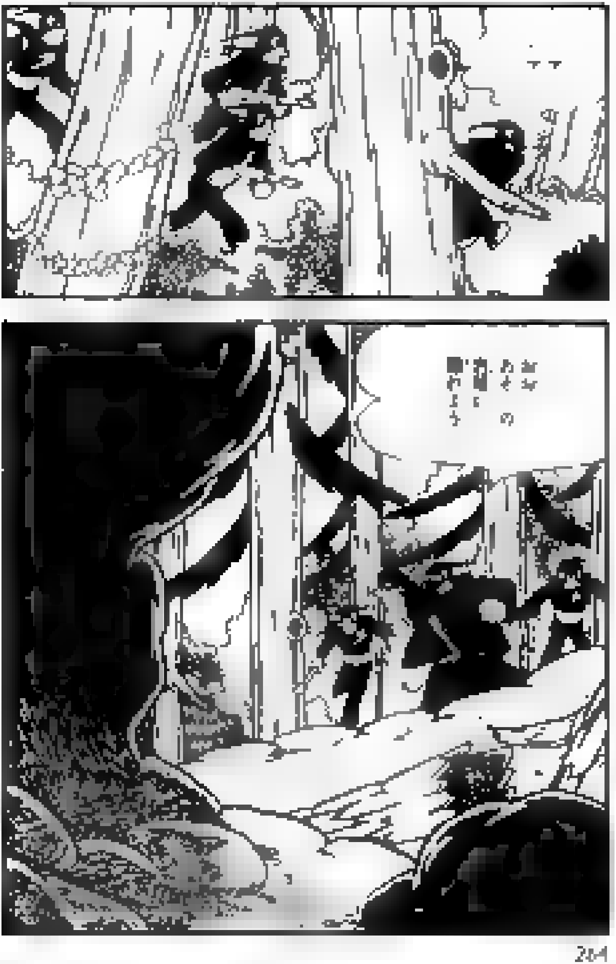
うわっ
またやってきたぞ
正太郎くん
たちは
あの敵
ロケット砲を
撃ち込んで



不乱博士
?

おお 鉄人の
出口だぞ
それ 今の うちだ

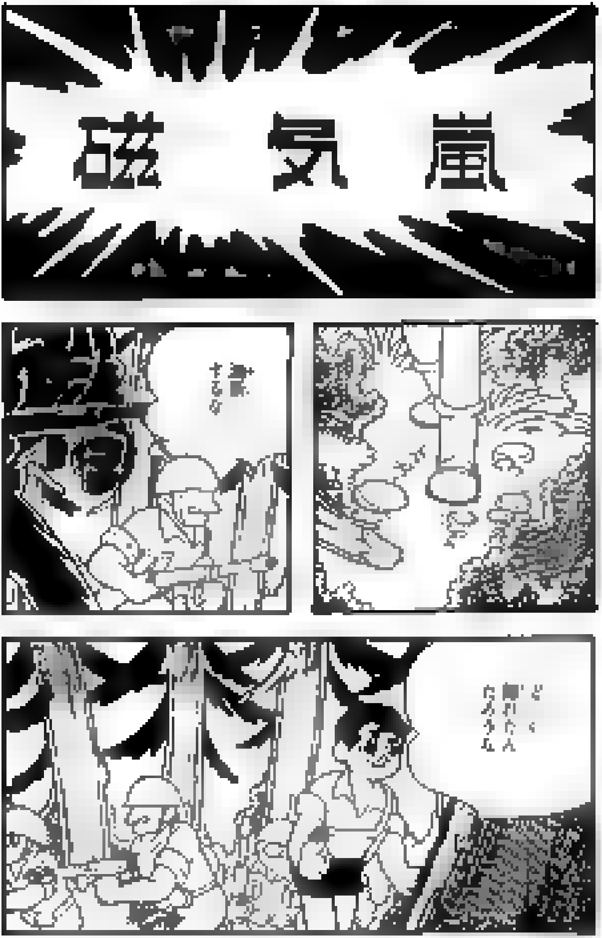




もう大丈夫だ
ばか者

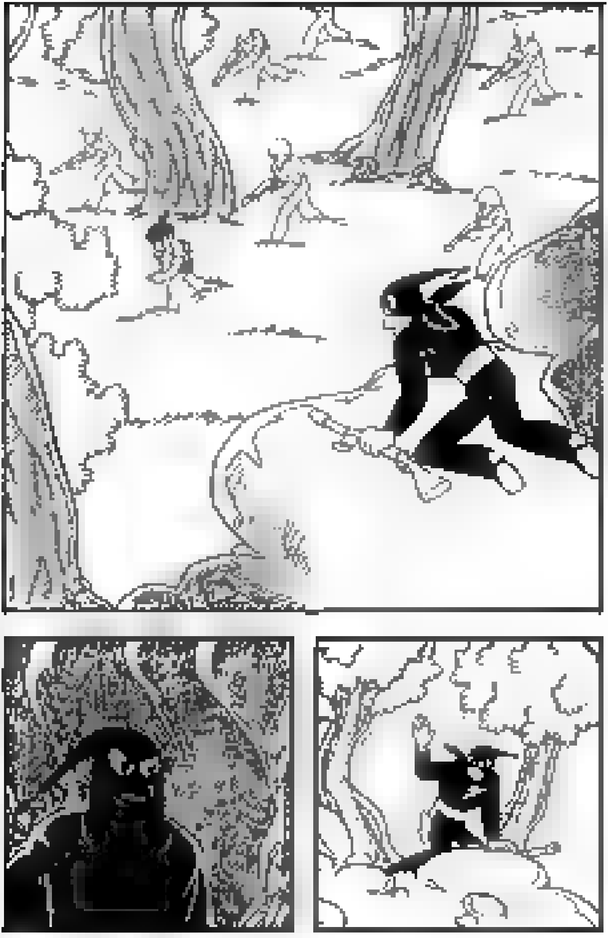
そんなことを
したら
戦争に
なってしまう
戦争を
引き起こす
日本の

鉄人と
ブラック
オックスが
逃げ出せる
閣下
攻撃は
うむ
フウアナ
今度は
どんな攻撃を
しかけて

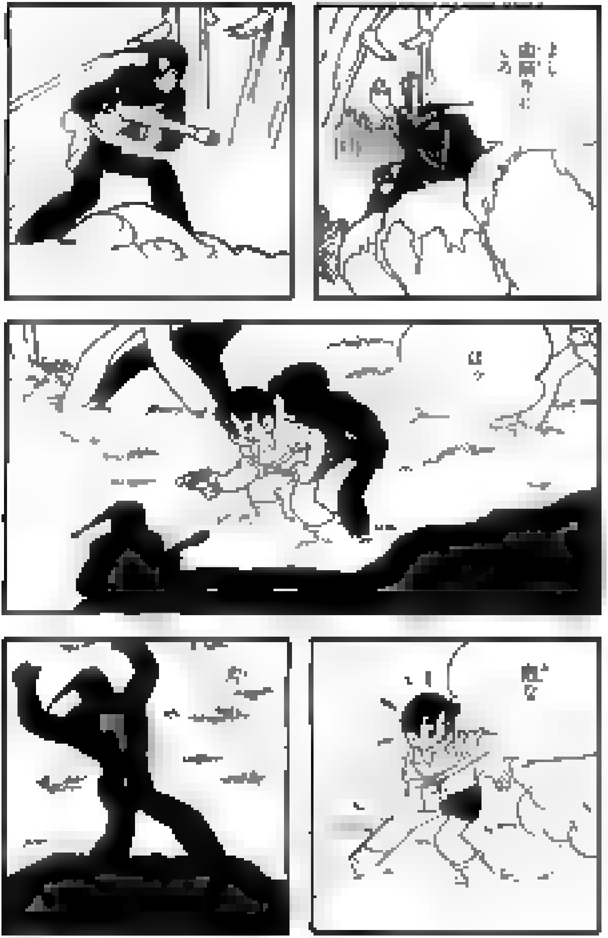

磁気嵐
邪魔するな
よく割れたん

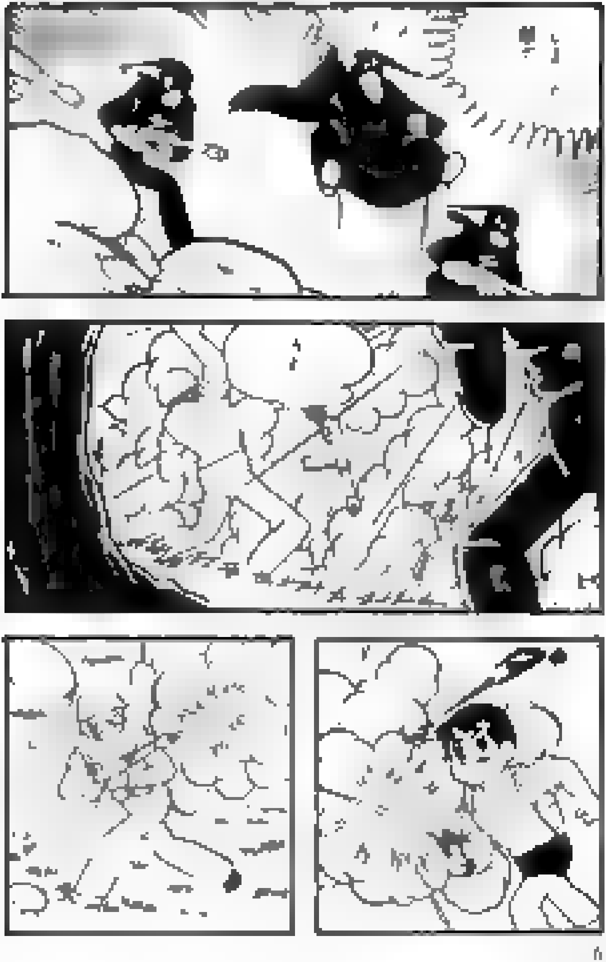
おやっ
この木の
折れ方は
大風の
違うぞ

天の網を
かぶせて
おきました
上空からは
見えません
よし
あっ



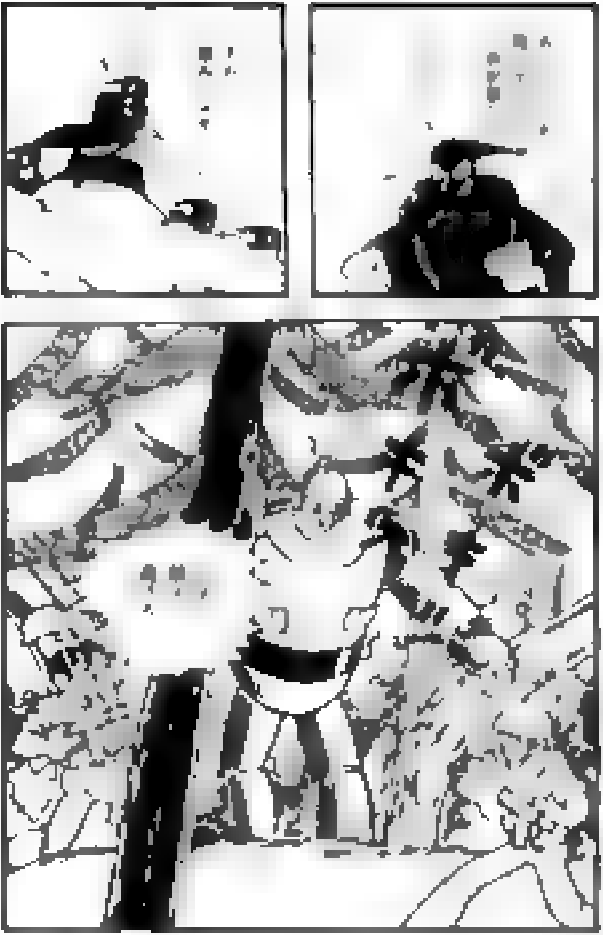
ワッて
きたな
正太郎たち
です
わずか
おっ


よし
山頂か

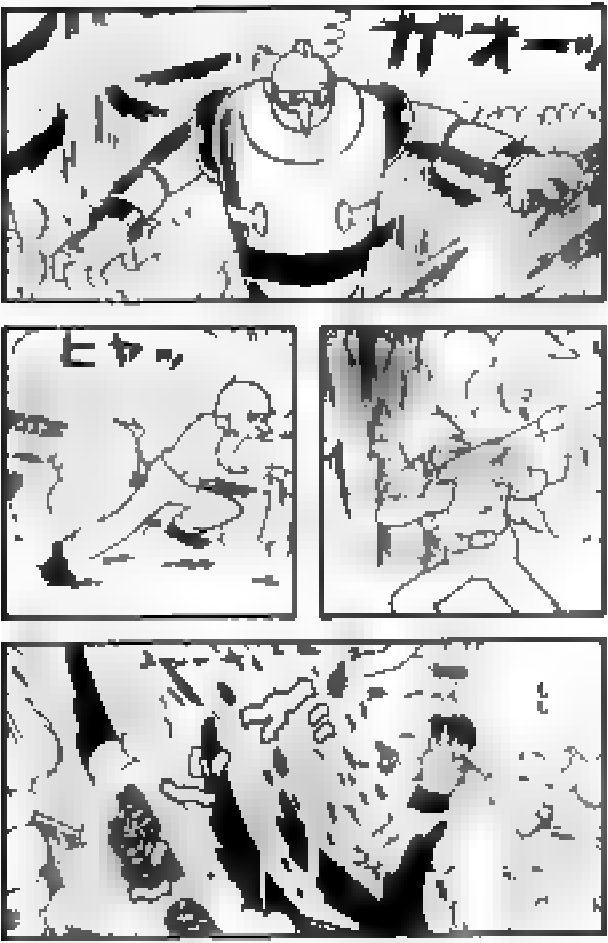


?!
戻せ 正太郎は わしが 片づける
あっ

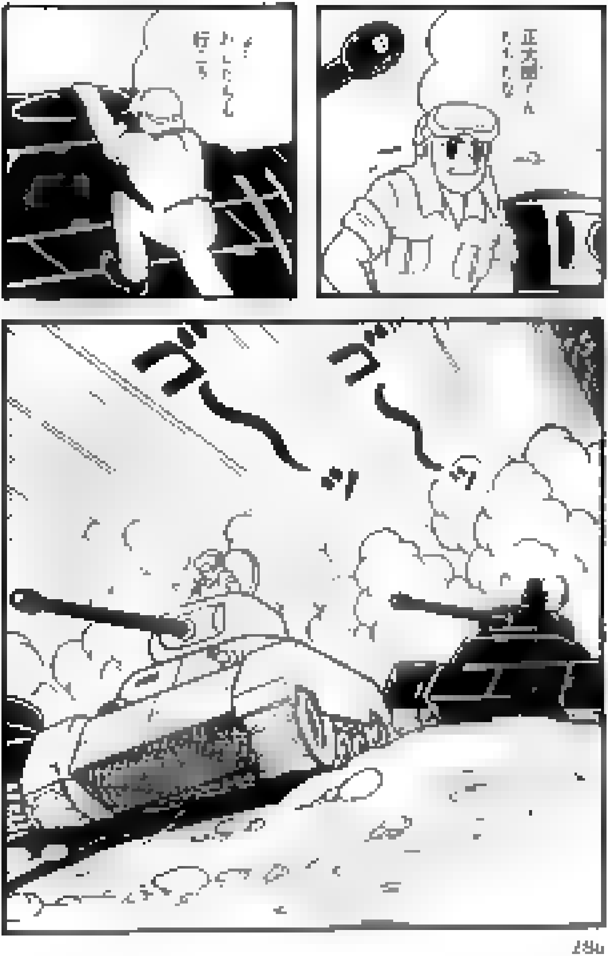
どどどど
グワ゛



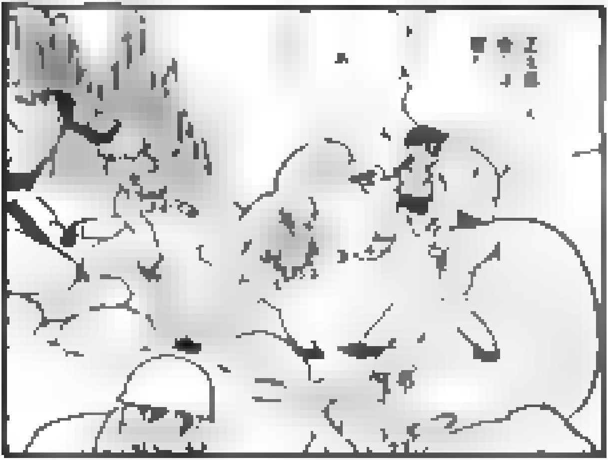
うわっち
畜生!

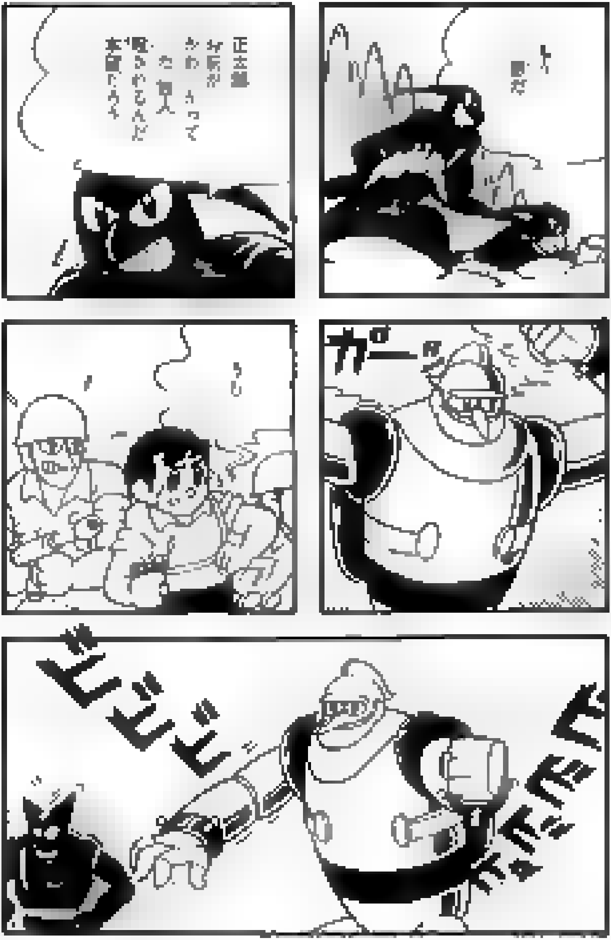

ガオーッ
ヒャッ

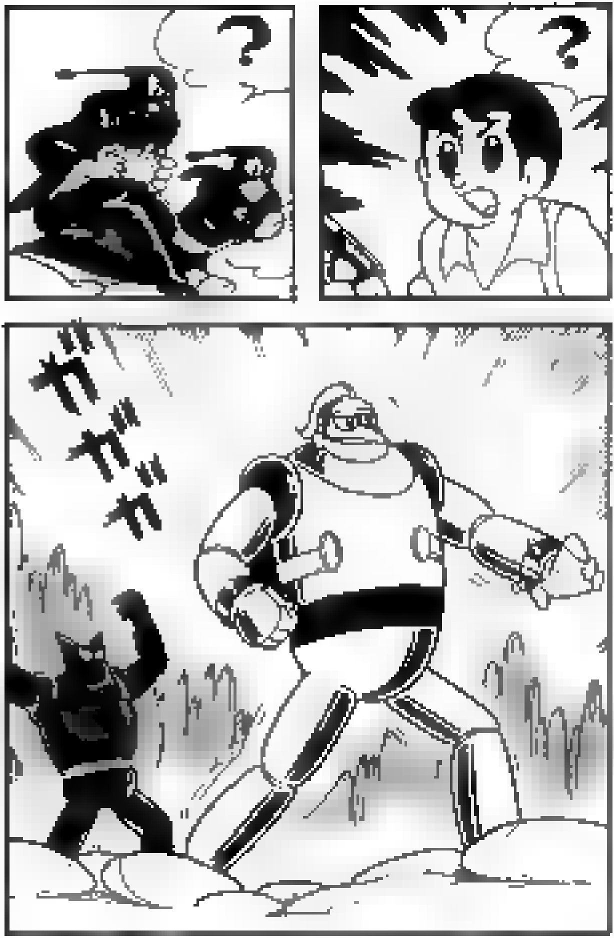
ろく面団の最後


正太郎くん
おれたちも 行こう
ゴ〜〜ッ
ゴ〜〜ッ

ボキッ




正太郎
ガー
ドドドド


?
?
ガガガ

どう
したんだ

うわっ こちらに 向かってくるぞ
ヒャーッ
閣下っ たく とりなためで ありますか
それは こちらが 聞たいよ

さあ
また
お前か

正太郎くん

いったい
どうした
わけなん
だろうな
ように
なりました
ほんとだ
どうしたん
だろう

世間を騒がした
怪人たちが
正太郎くんや
國際警察の
活躍で
全員捕まり
ました

驚いたことは
死んだはずの
不乗博士が
怪人たちの手で
生き返り
あの悪いロボット
ブラックオックスを
造ったことです

※太陽の爆発現象にともなって起こる電波通信障害のこと。

次巻につづく

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

電子書籍版

鉄人28号
原作完全版

10

横山 光輝
© 光プロダクション／潮出版社
Original 潮出版社

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co.,Ltd.
http://www.ebookjapan.jp